

別添 3

高浜 3, 4 号機

電線管等に敷設する火災防護対象ケーブルの系統分離対策

別添 3-1

高浜 3, 4 号機

系統分離対策一覧表

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

高浜3，4号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

高浜発電所3号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/2)

(凡例) □ : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源 ^{※1}	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)	運用等ハ(ハ)	
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容 ^{※2}	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置 ^{※3}	可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内
							固定火災源	防護対象系列 の電線管				
火災区画		2次系継電器室	ロ	B	B							
火災区画		中央制御室ケーブル処理室(3・4号機 共用)	ロ	A	A							
火災区画		1次系継電器室	ロ	A	-							
火災区画		海水管室	イ	A	A							
火災区画		電動補助給水ポンプ、空調用冷凍機室	ハ	AB	AB	電気盤(3B格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、3A空調冷凍機盤、3R-59) 電気盤(3A格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、3B空調冷凍機盤) ケーブルトレイ(N系) 油内包機器(3A電動補助給水ポンプ、3B電動補助給水ポンプ、3A格納容器外制御用空気圧縮機、3B格納容器外制御用空気圧縮機、3A空調用冷凍機、3B空調用冷凍機、3A空調用冷水ポンプ、3B空調用冷水ポンプ)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [E1□n] 電線管等(B系)ラッピング(全部) [E1□n]	-	エアロゾル消火設備(既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー(既工認で設置済) スプリンクラー(既工認で設置済) 局所ハロン消火設備(既工認で設置済)	パターン1
火災区画		原子炉補機冷却水冷却器室	ハ	A	AB	電気盤(高圧盤・低圧盤) 電気盤(3SGBD水質監視盤) ケーブルトレイ(N系) 油内包機器(3A-原子炉補機冷却水ポンプ、3B-原子炉補機冷却水ポンプ、3C-原子炉補機冷却水ポンプ、3D-原子炉補機冷却水ポンプ、3E-原子炉補機冷却水ポンプ)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [E1□n, E1□nの中間床]	-	エアロゾル消火設備(新設) スプリンクラー(既工認で設置済) スプリンクラー(既工認で設置済) 局所ハロン消火設備(既工認で設置済)	パターン1
火災区画		中間建屋 E.L.□n通路	ロ	B	B							
火災区画		中央制御室空調装置室	ハ	A	A	ケーブルトレイ(B系) ケーブルトレイ(N系)	-	○	電線管等(A系)ラッピング(全部) [E1□nの中間床]	-	スプリンクラー(既工認で設置済) スプリンクラー(既工認で設置済)	パターン2

基本設計方針
 イ. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ. 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ. 火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所3号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (2/2)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源 ^{※1}	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)	運用等ハ(ハ)	
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容 ^{※2}	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置 ^{※3}	可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内
							固定火災源	防護対象系列 の電線管				
火災区画		配管貫通部冷却ユニットファン室・再循環弁室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1 ^ハ , E1 ^ロ の間中床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1
火災区画		ほう酸ポンプ室及びほう酸タンク室	ロ	AB	AB	/	/	/	/	/	/	/
火災区画		原子炉補助建屋 E.L. 通路2	ハ	A	A	ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1 ^ハ]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン2
火災区画		ほう酸注入循環ポンプ室他	ハ	A	-	電気盤 (3uB電動弁現場操作盤-1) 電気盤 (3uB電動弁現場操作盤-2、3uB電動弁現場操作盤-3) ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (3Aほう酸注入循環ポンプ、3Bほう酸注入循環ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1 ^ハ , E1 ^ロ の間中床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) エアロゾル消火設備 (新設) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1
火災区域		海水ポンプ室 (3・4号機共用)	ハ	AB	A	-	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1 ^ハ] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1 ^ロ]	-	-	パターン1

基本設計方針
 イ. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ. 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ. 火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

高浜発電所4号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/1)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対象 系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等 ハ(ロ)		固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ)	
							隔壁等の設置			本設工認による処置内容※2	火災感知・自動消火設備の設置※3		
							固定火災源	防護対象系列 の電線管			固定火災源※1		
火災区画		2次系継電器室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1-]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) 全域ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		1次系継電器室	ロ	A	-		/	/	/	/	/	/	
火災区画		海水管室	イ	A	A		/	/	/	/	/	/	
火災区画		電動補助給水ポンプ、空調用冷凍機室	ハ	AB	AB	電気盤 (4B格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、4A空調冷凍機盤) 電気盤 (4A格納容器外制御用空気乾燥器電源盤、4B空調冷凍機盤) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (4A電動補助給水ポンプ、4B電動補助給水ポンプ、4A格納容器外制御用空気圧縮機、4B格納容器外制御用空気圧縮機、4A空調用冷凍機、4B空調用冷凍機、4A空調用冷水ポンプ、4B空調用冷水ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1-] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1-]	-	エアゾル消火設備 (既工認で設置済、 系統分離対策に流用) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1	
火災区画		原子炉補機冷却水冷却器室	ハ	A	AB	電気盤 (4SGBD水質監視盤) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (4A-原子炉補機冷却水ポンプ、4B-原子炉補機冷却水ポンプ、4C-原子炉補機冷却水ポンプ、4D-原子炉補機冷却水ポンプ、4E-原子炉補機冷却水ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1- , E1- の間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1	
火災区画		中間建屋 E.L. 通路	ロ	B	B		/	/	/	/	/	/	
火災区画		中央制御室空調装置室	ハ	A	A	ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1- の間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) ケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)	パターン2	
火災区画		配管貫通部冷却ユニットファン室・再循環弁室	ハ	B	B	ケーブルトレイ (A系) ケーブルトレイ (N系)	-	○	電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E1- , E1- の間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1	
火災区画		ほう酸ポンプ室及びほう酸タンク室	ロ	AB	A		/	/	/	/	/	/	
火災区画		ほう酸注入循環ポンプ室他	ハ	A	-	電気盤 (4uB電動弁現場操作盤-1、4uB電動弁現場操作盤-2) ケーブルトレイ (B系) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (4Aほう酸注入循環ポンプ、4Bほう酸注入循環ポンプ)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E1- , E1- の間床]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済)	パターン1	

基本設計方針
 イ. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ. 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ. 火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 3-2

高浜 3, 4 号機

系統分離対策範囲図

1. 目的

本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

高浜 3，4 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

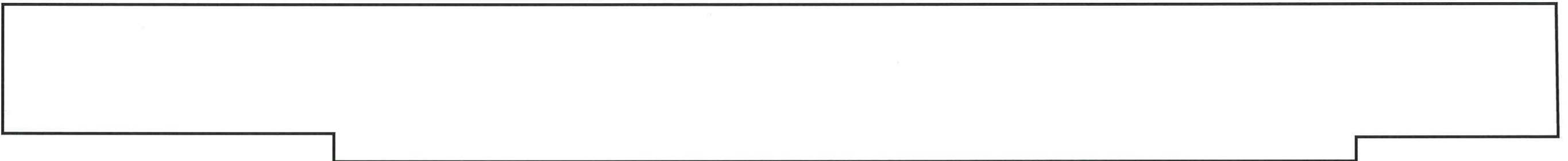
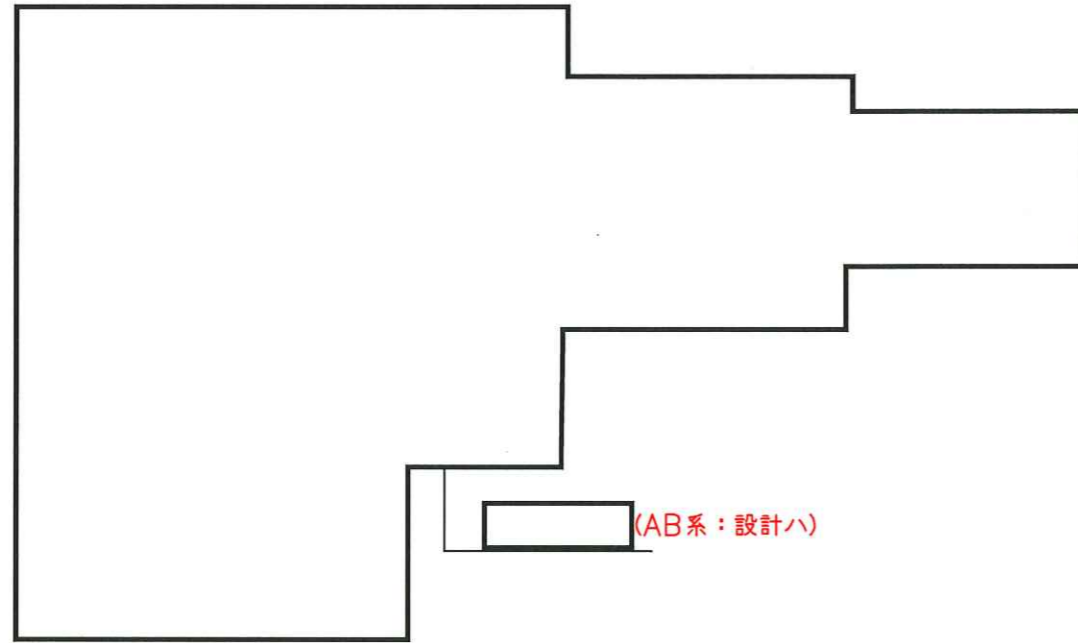
-  火災区域
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3・4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

火災区域

電線管等(A系)

電線管等(B系)

防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲

電気盤(440V以上)

固定火災源となるケーブルトレイ

油内包機器

油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

エアロゾル消火設備

スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

内は設計イとする

内は設計ロとする

〈参考寸法〉

6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3・4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

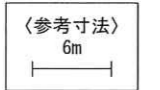
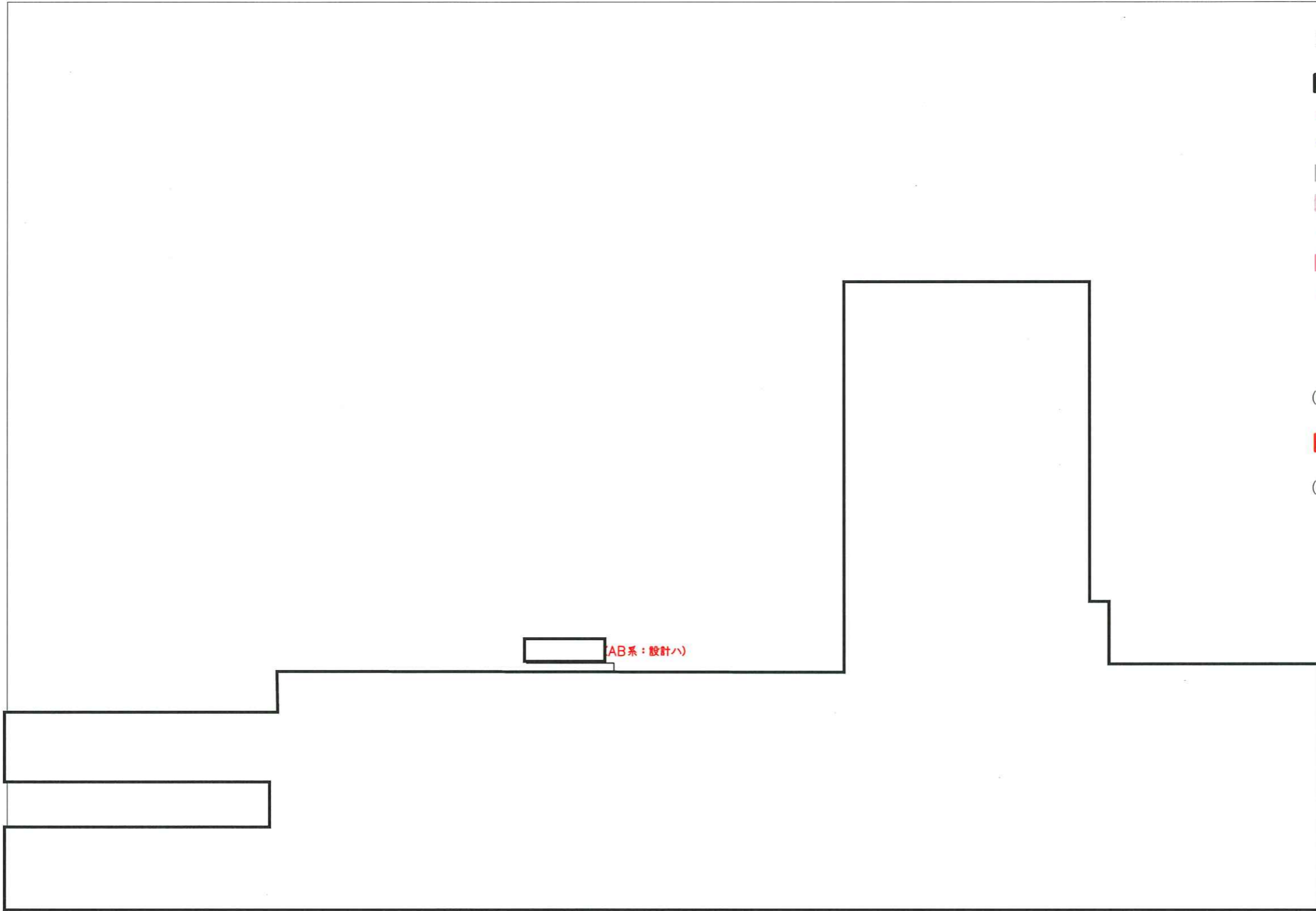
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用) スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

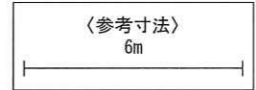
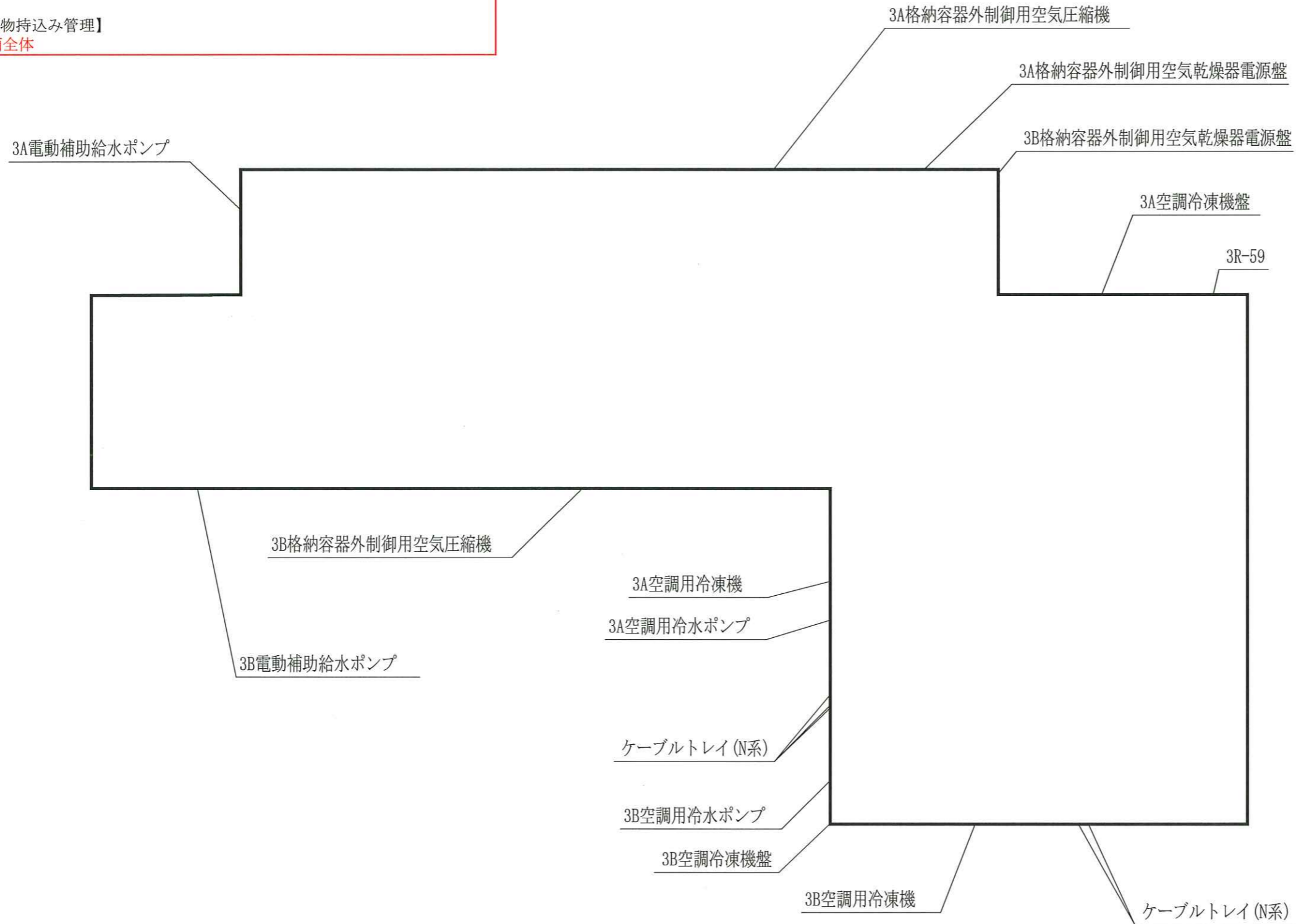
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図(拡大図)
高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

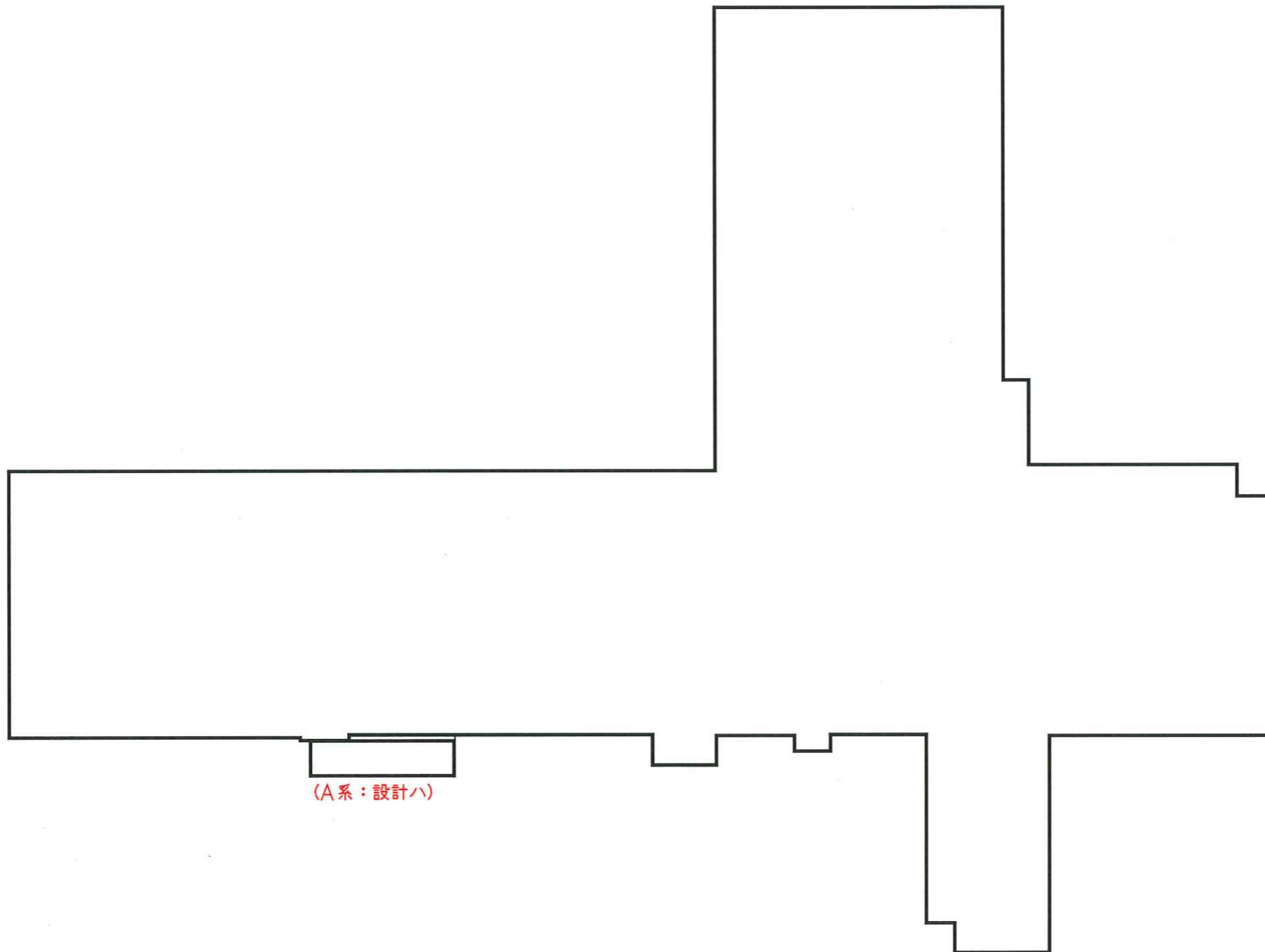
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:エアロゾル消火設備(新設)

スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

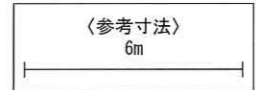
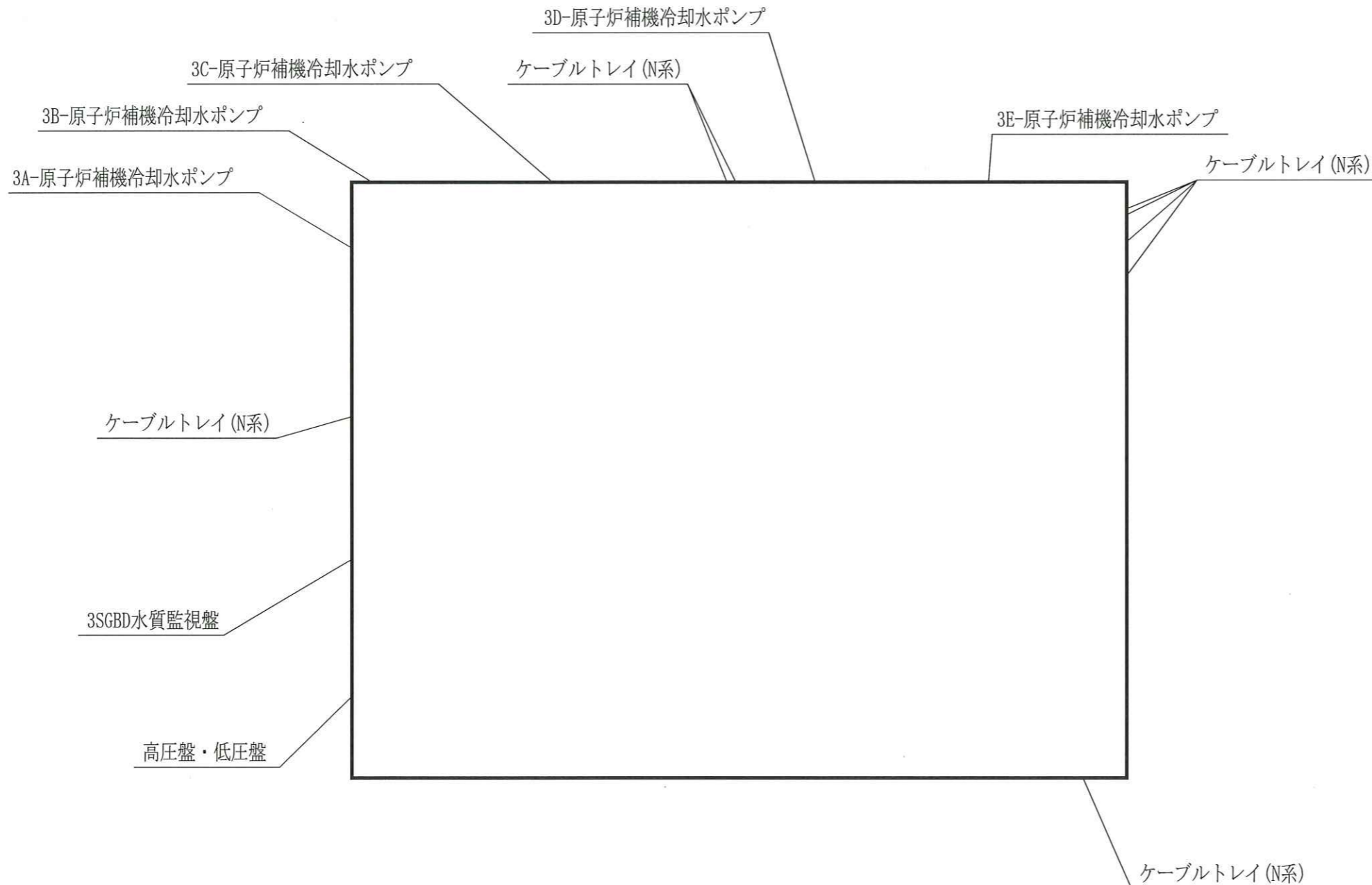
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図(拡大図)
高浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)


(隔壁等)

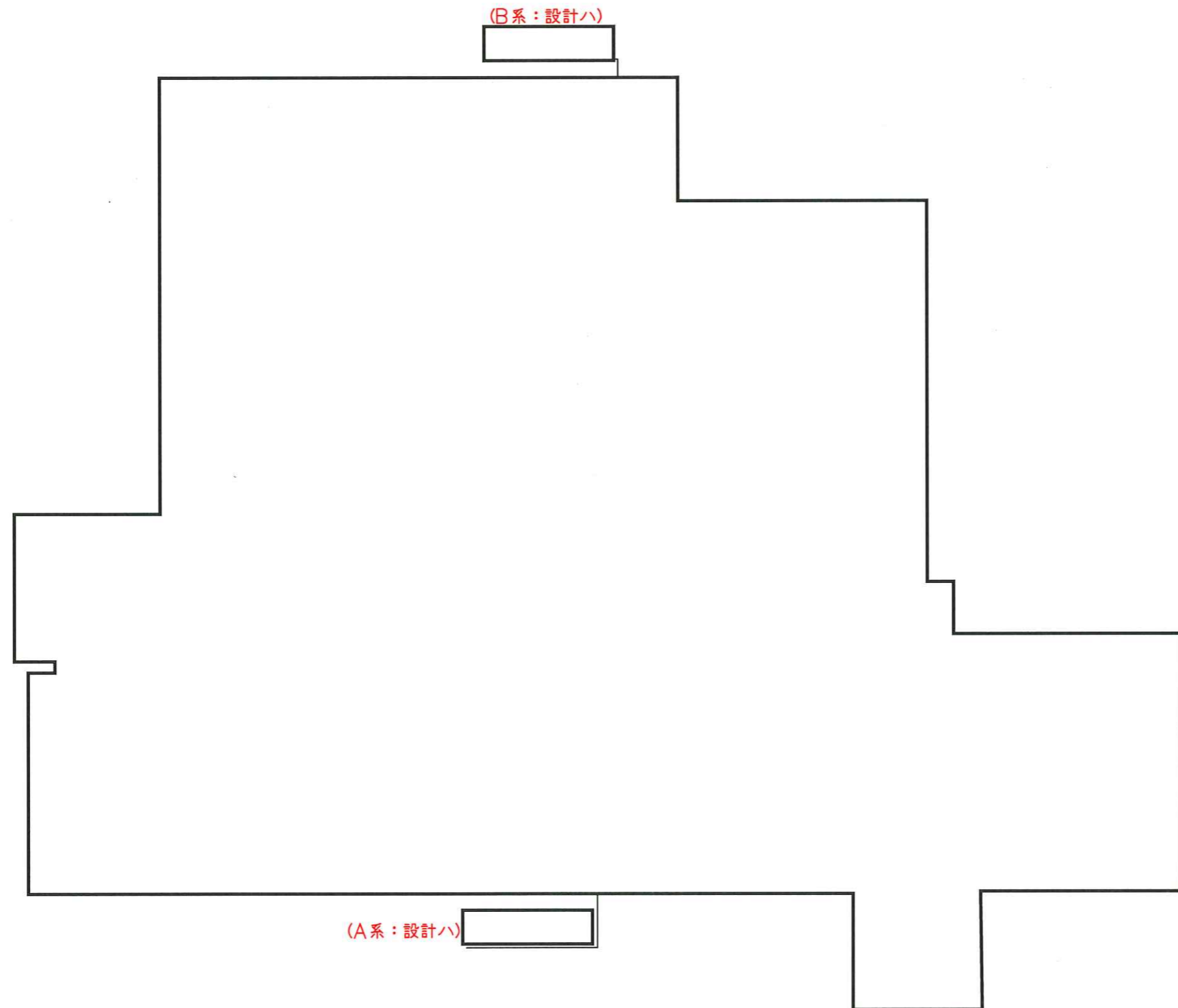
-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図 (概要図)
高浜発電所 3号機




枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:エアロゾル消火設備(新設)

スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

火災区画

電線管等(A系)

電線管等(B系)

防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲

電気盤(440V以上)

固定火災源となるケーブルトレイ

油内包機器

油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

エアロゾル消火設備

スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

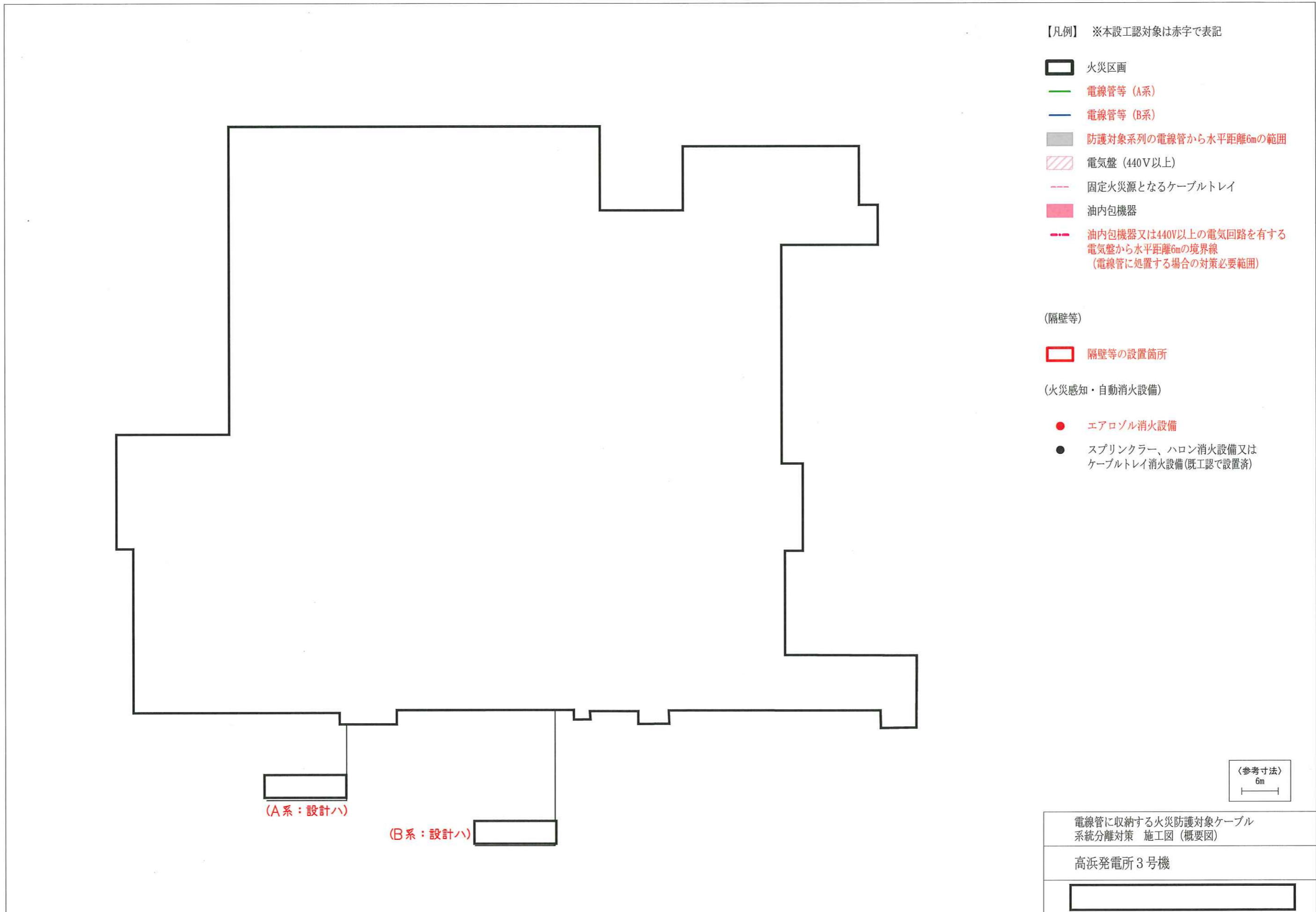
ケーブルトレイ(N系)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

- 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアゾール消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

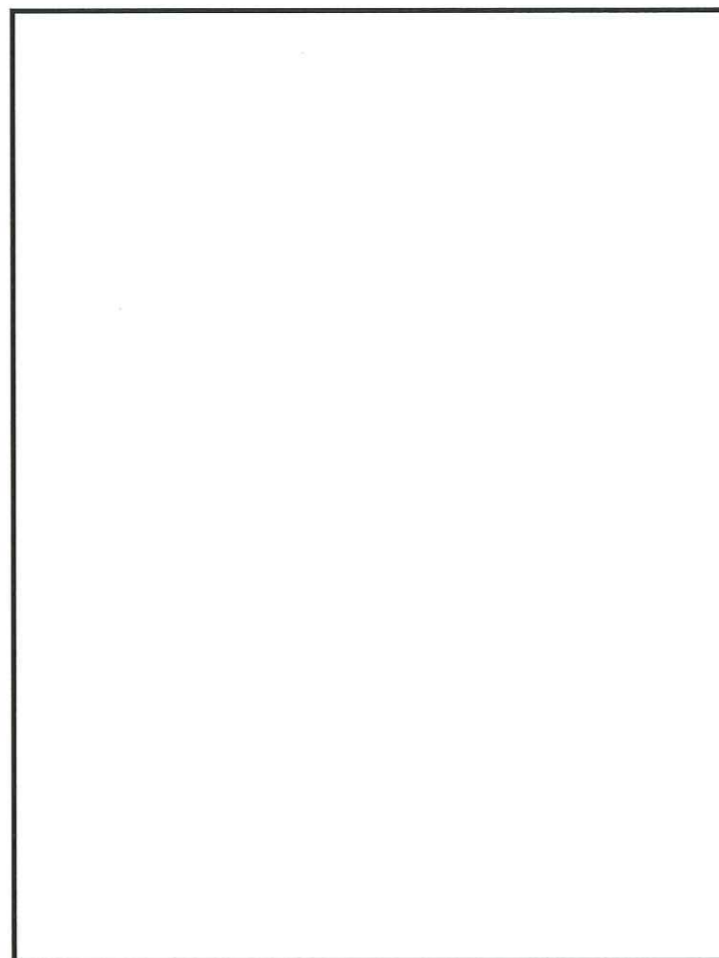
電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



ケーブルトレイ(A系)

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- ▨ 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

■ 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

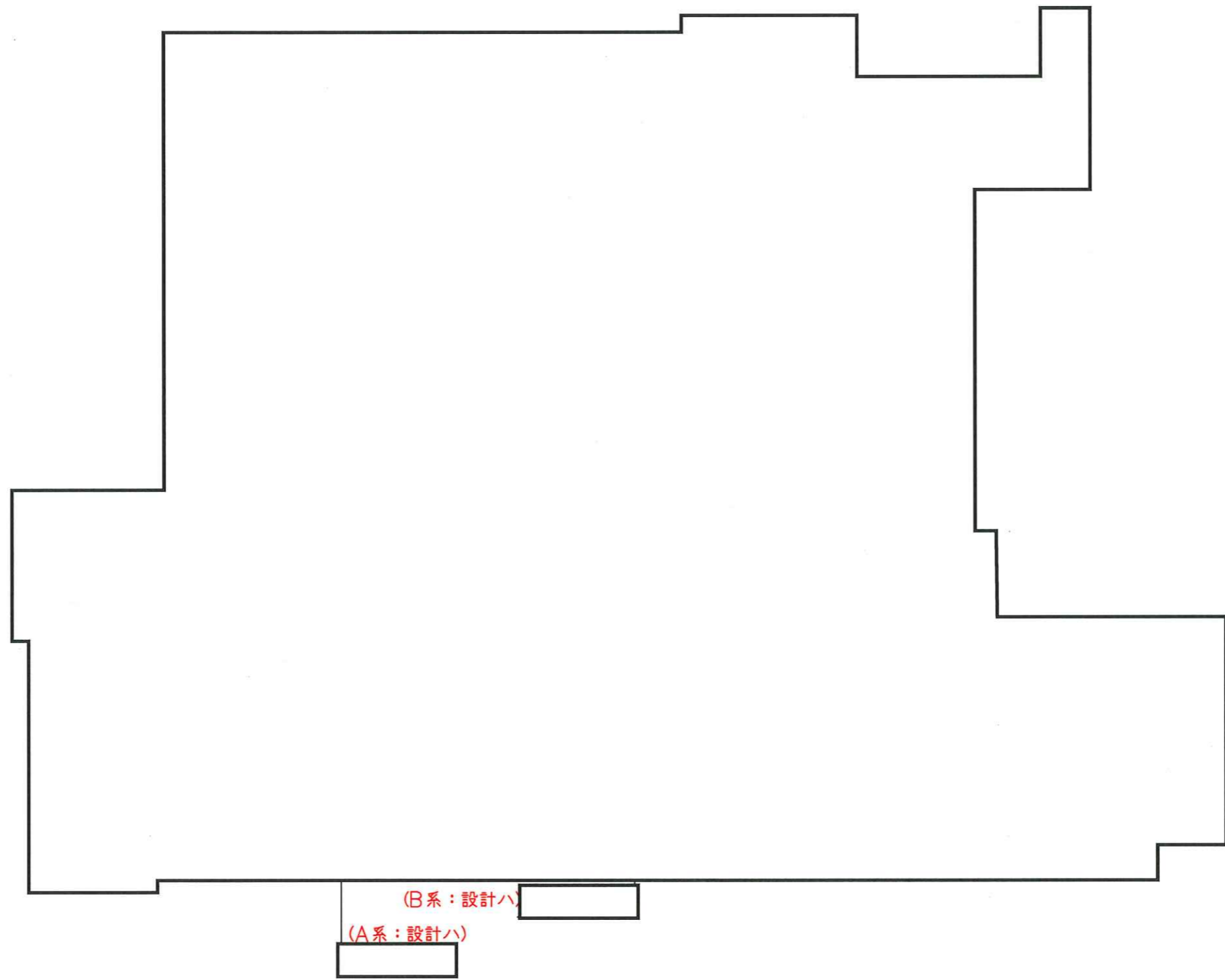
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

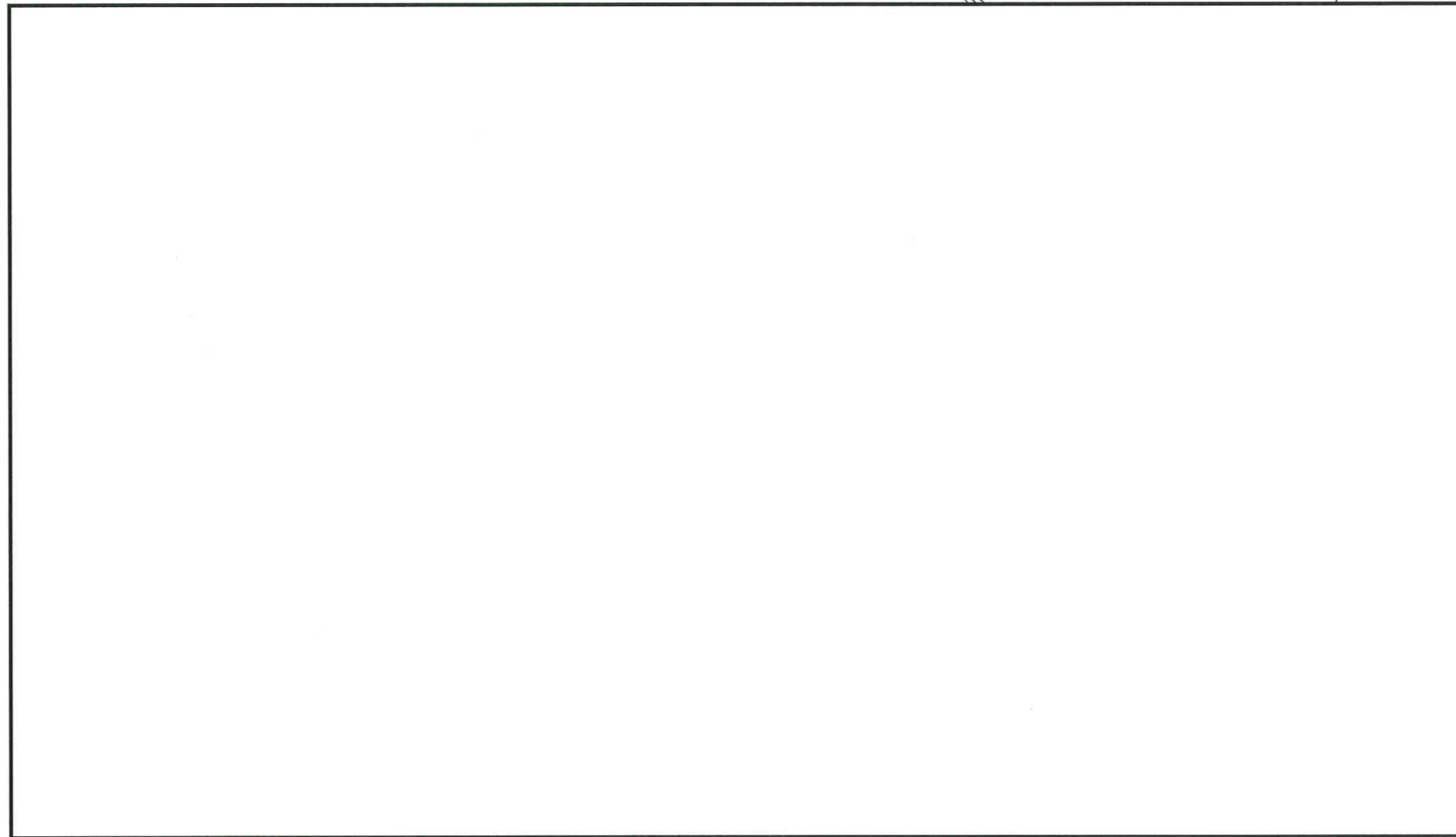
■ 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

ケーブルトレイ (B系)

ケーブルトレイ (N系)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

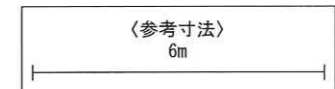
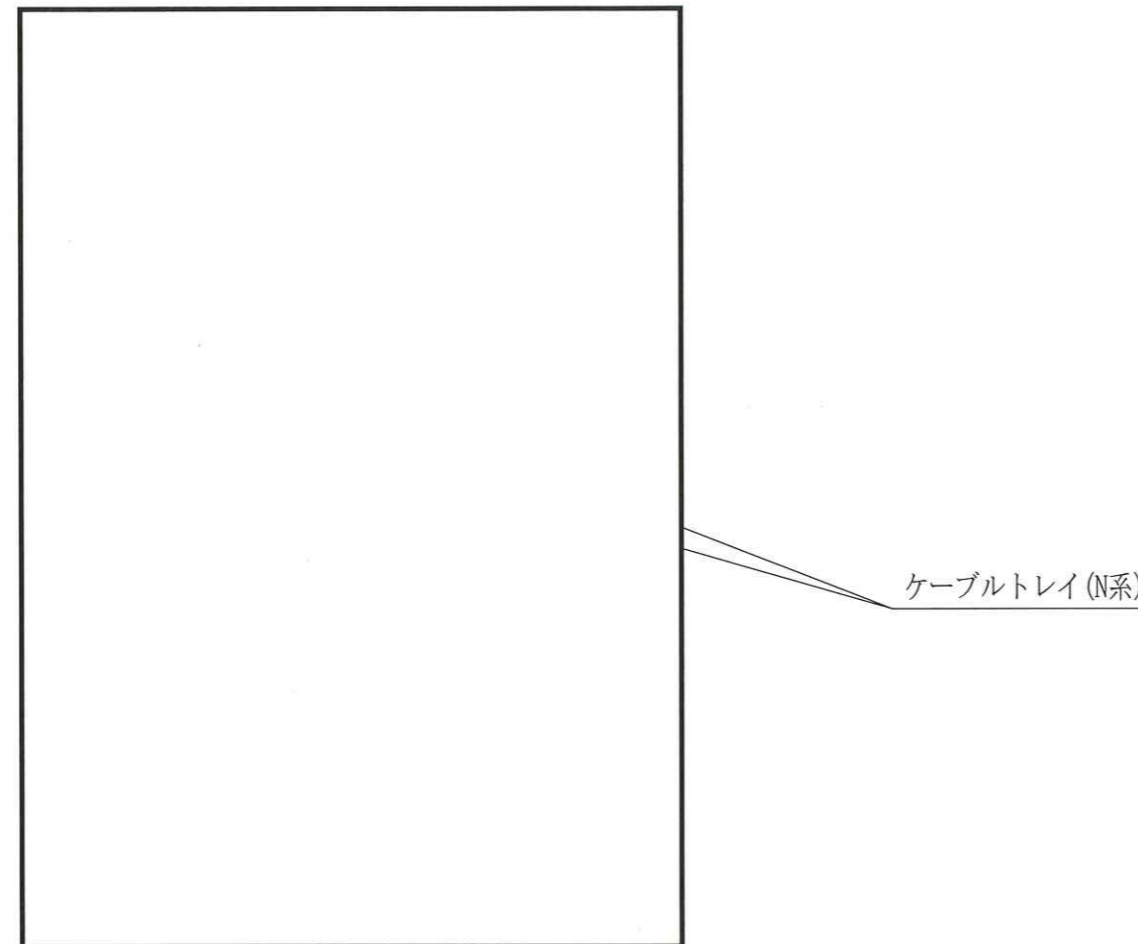
- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

■ 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

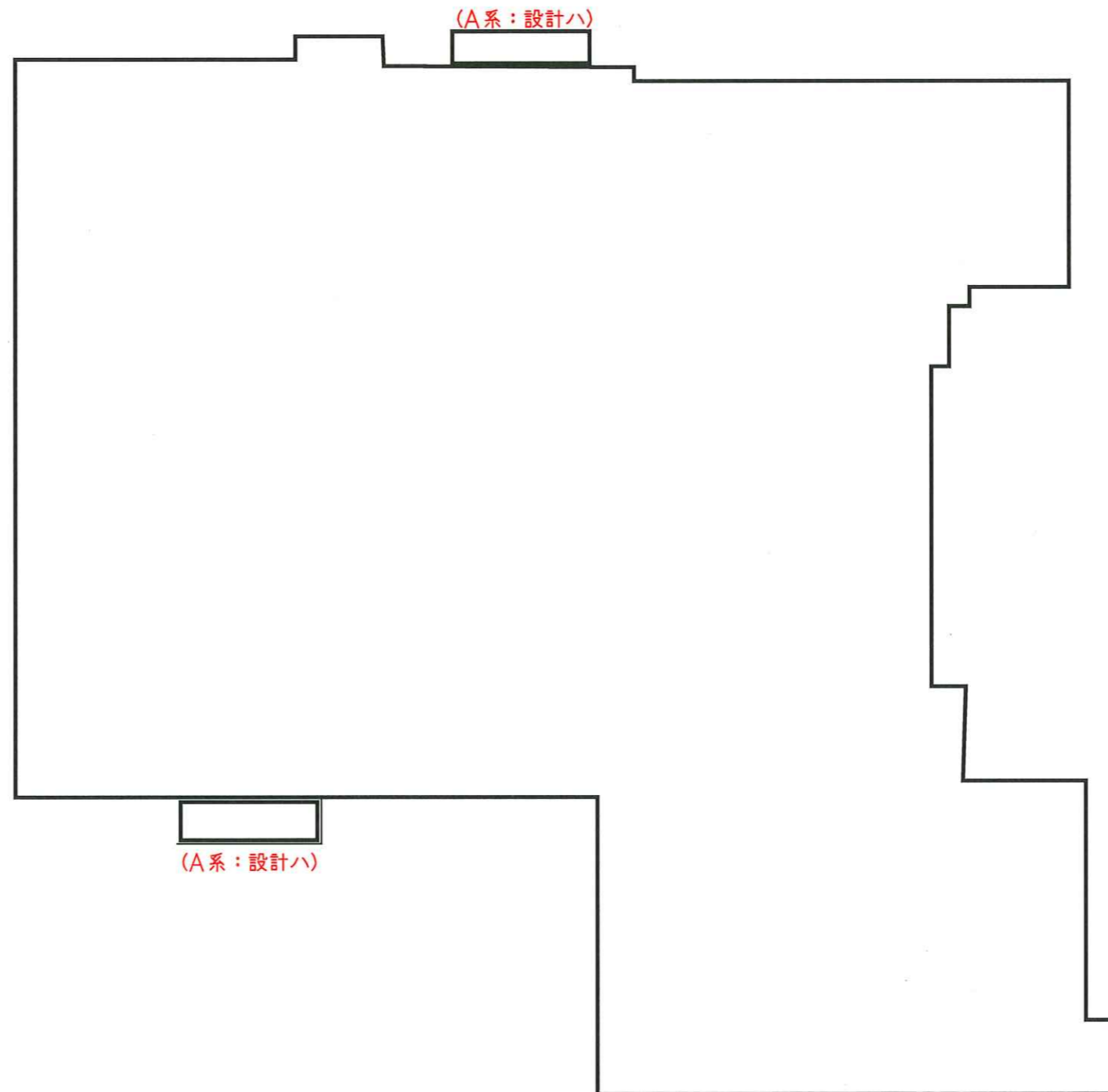
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

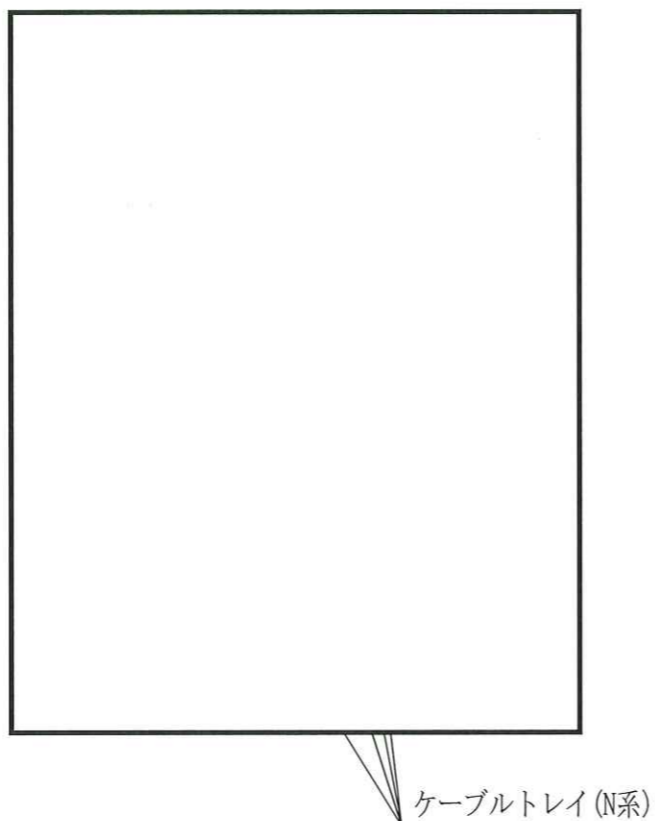
- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
エアロゾル消火設備(新設)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

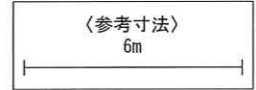
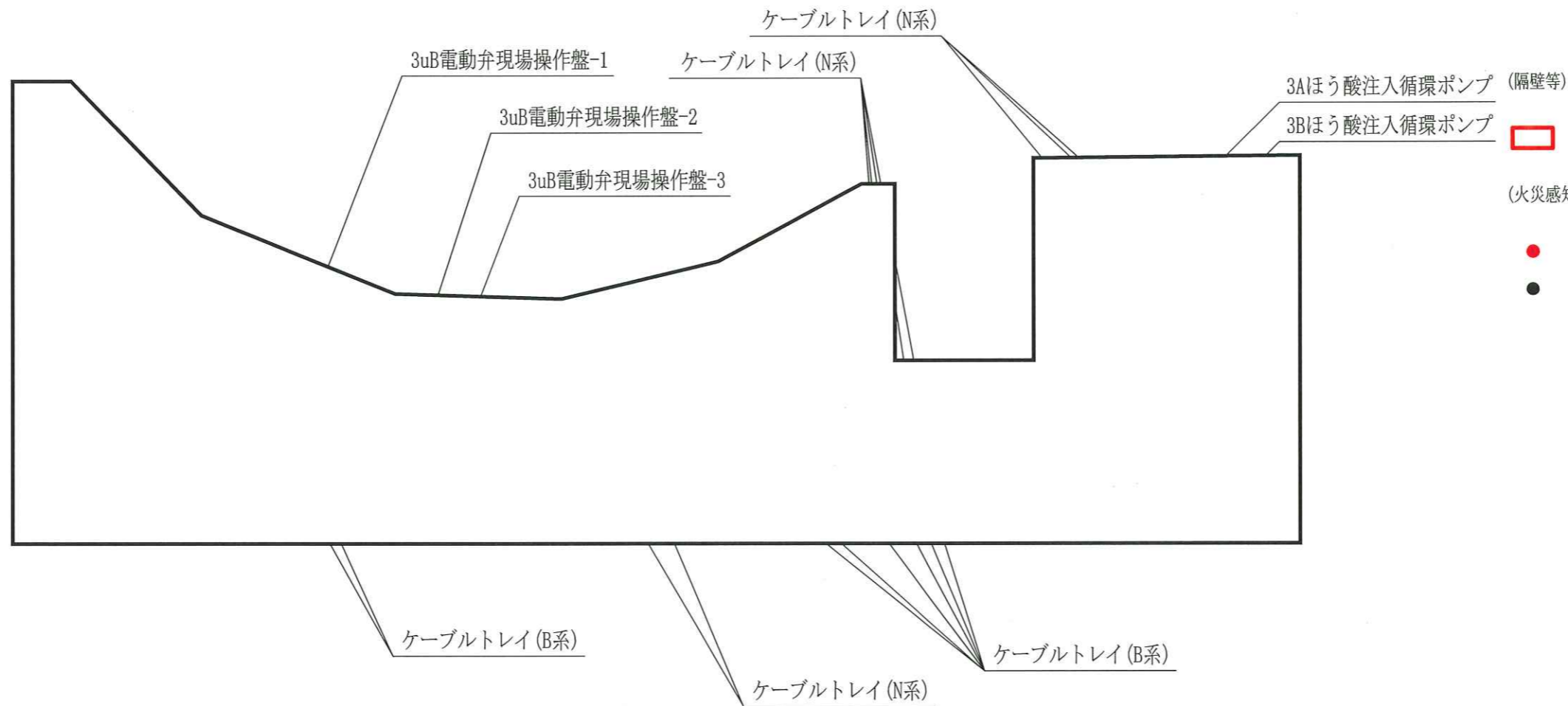
【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

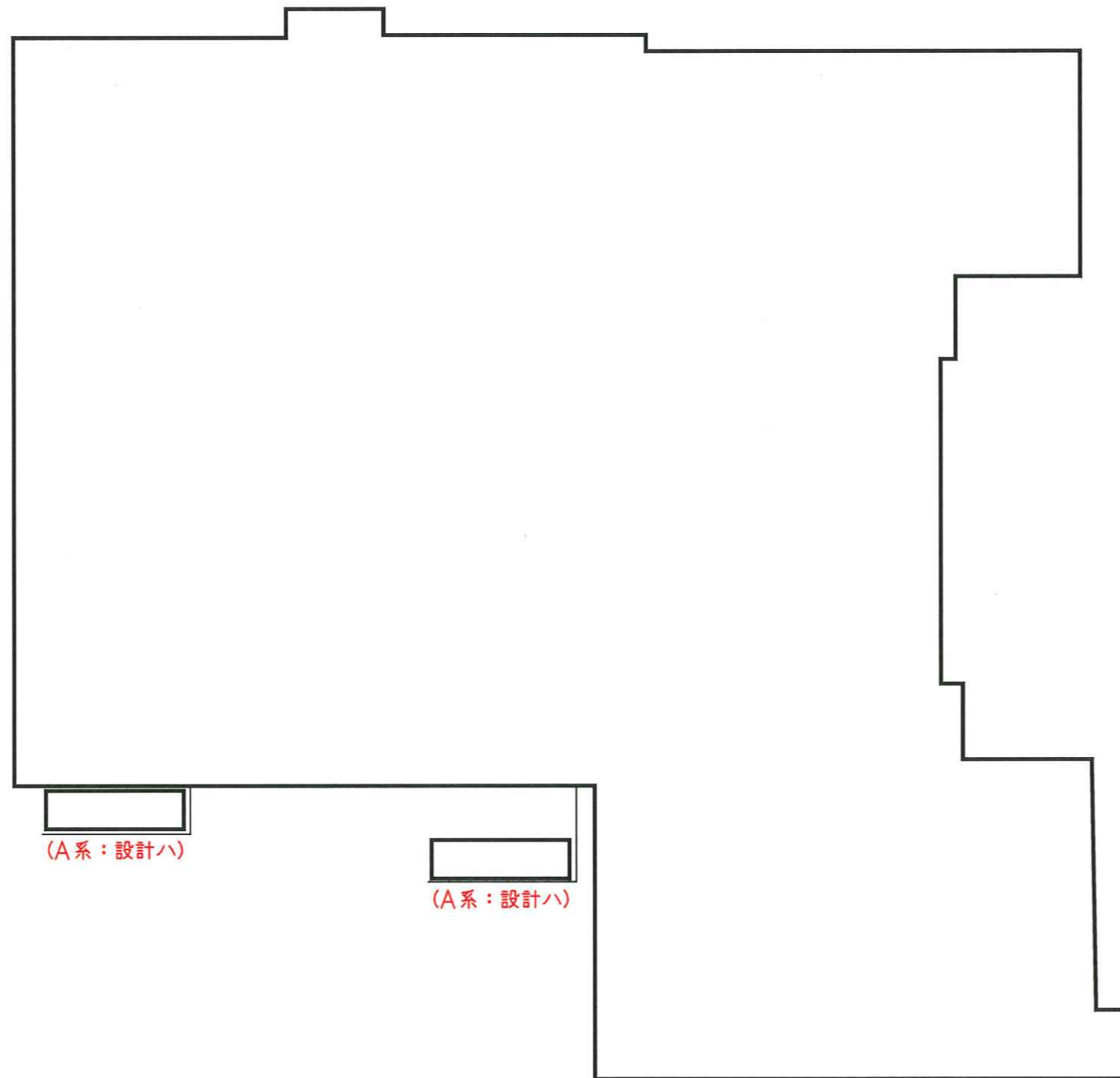
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)

エアロゾル消火設備(新設)

○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○油内包機器:スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

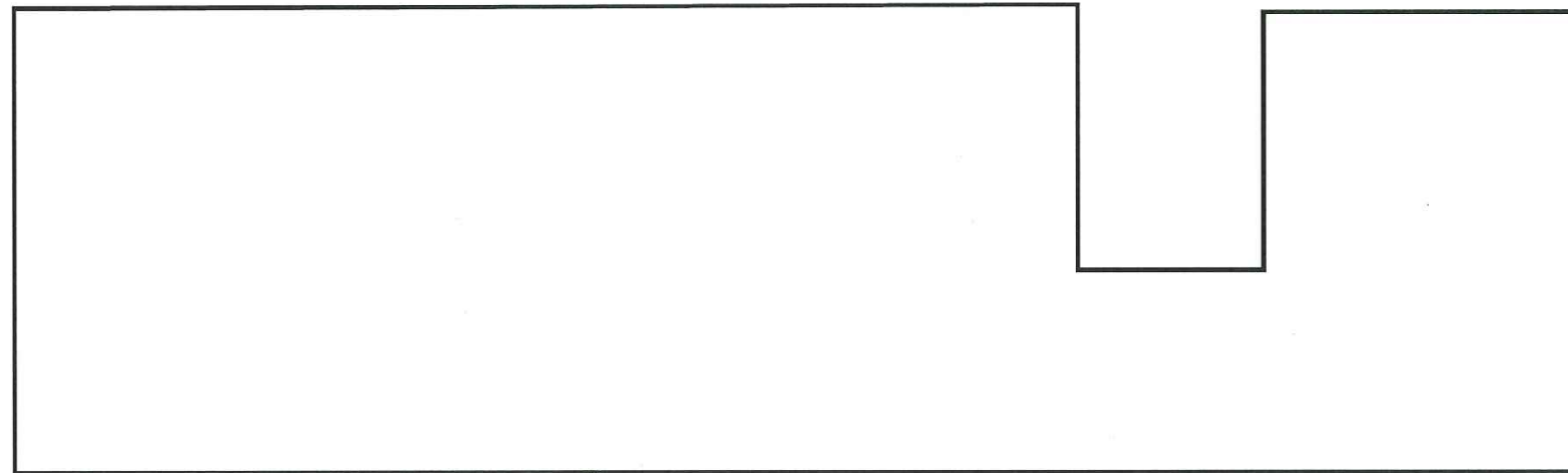
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

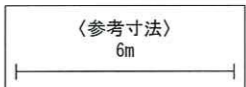
 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



ケーブルトレイ(N系)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

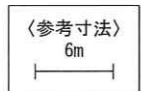
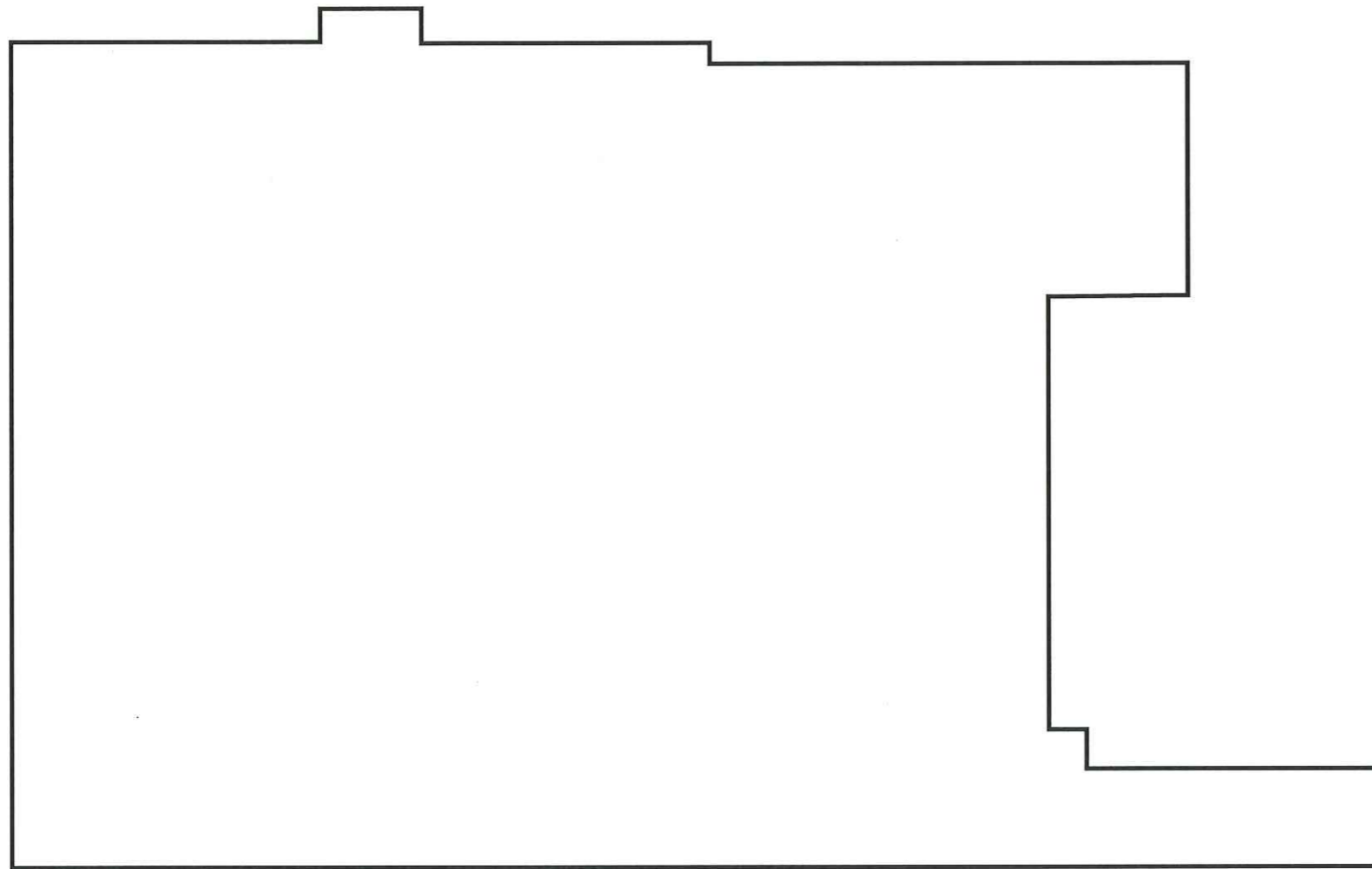
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

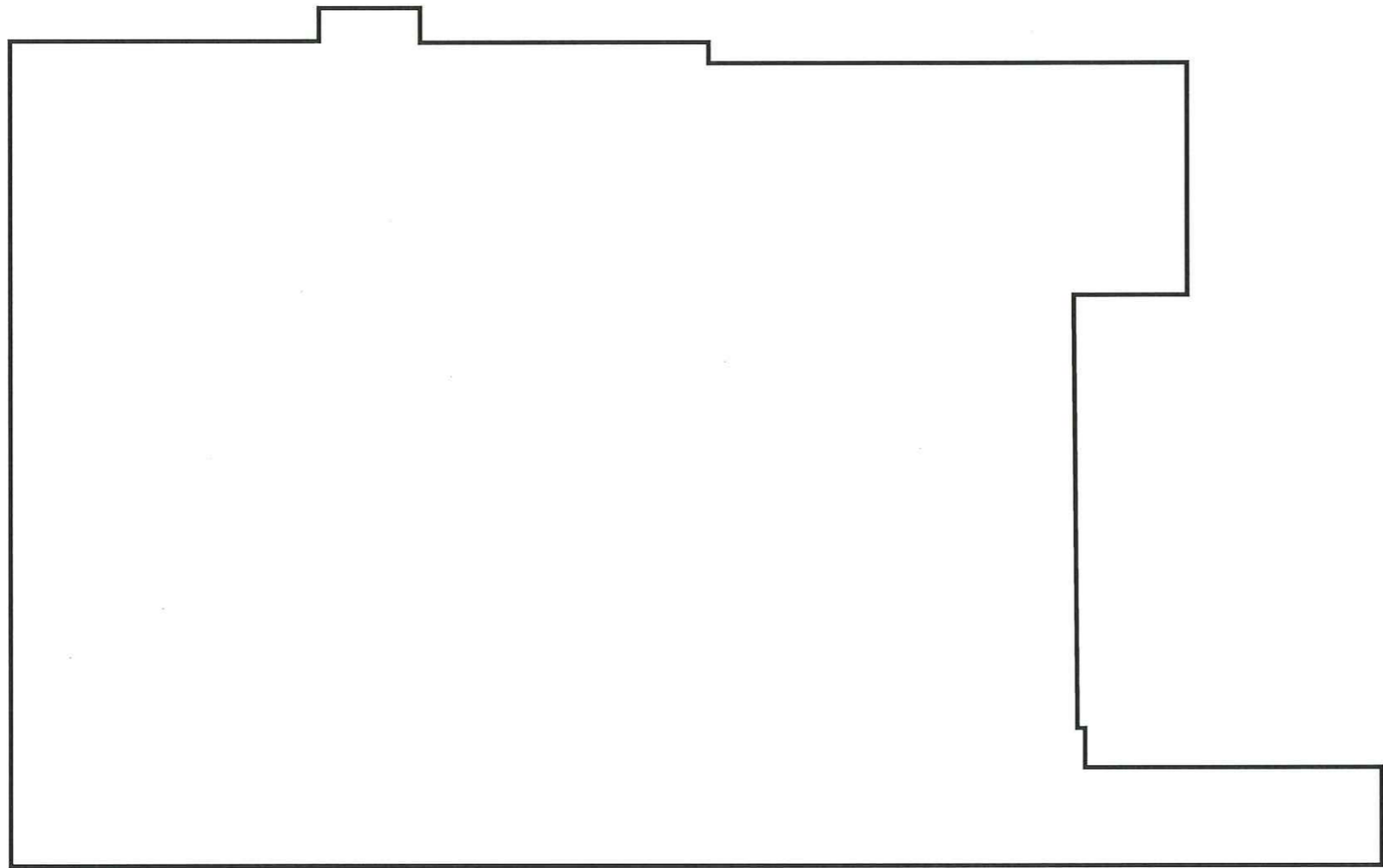


電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)









高浜発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。





【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)


(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図 (概要図)
高浜発電所 3号機


枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

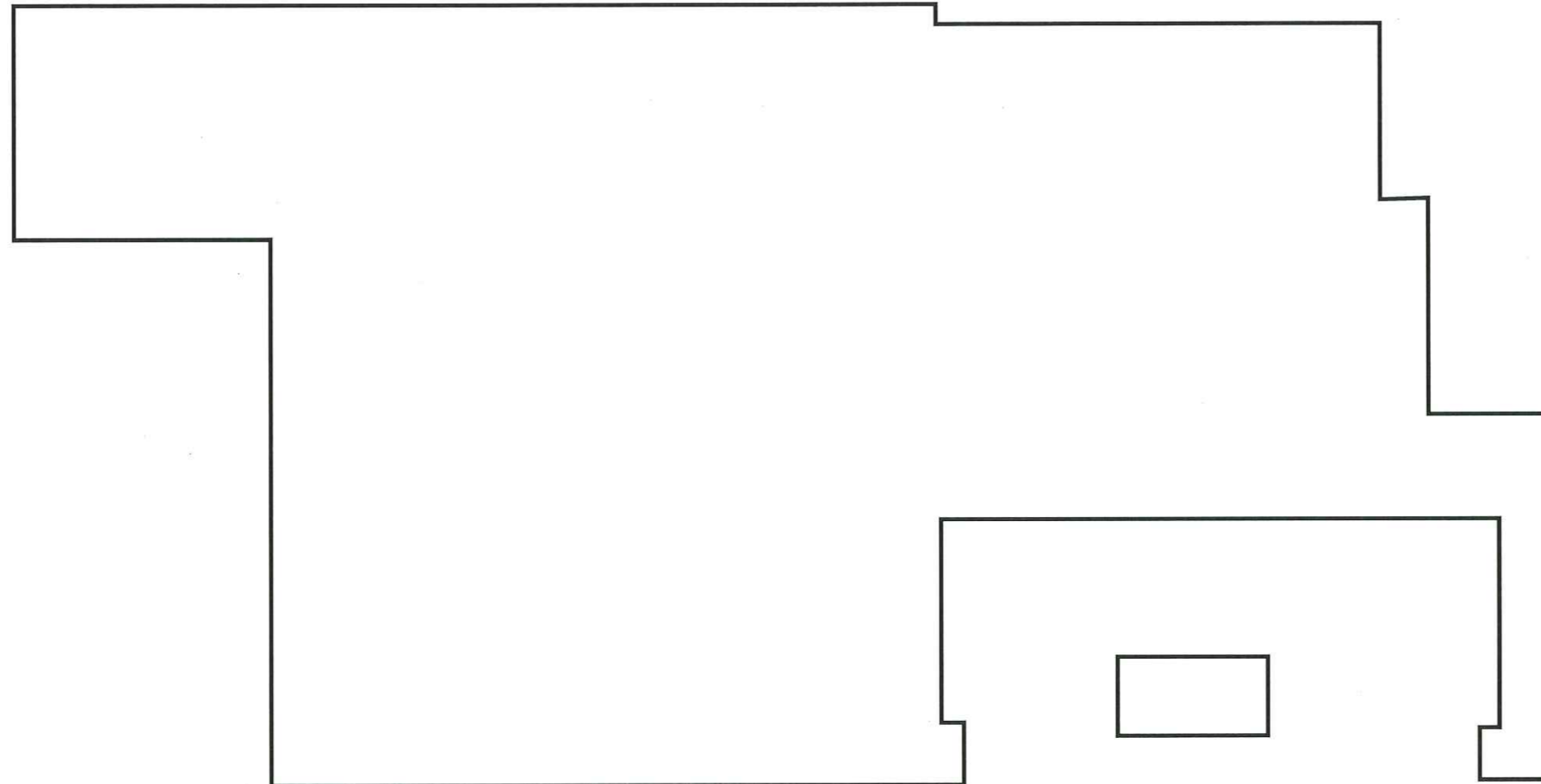
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

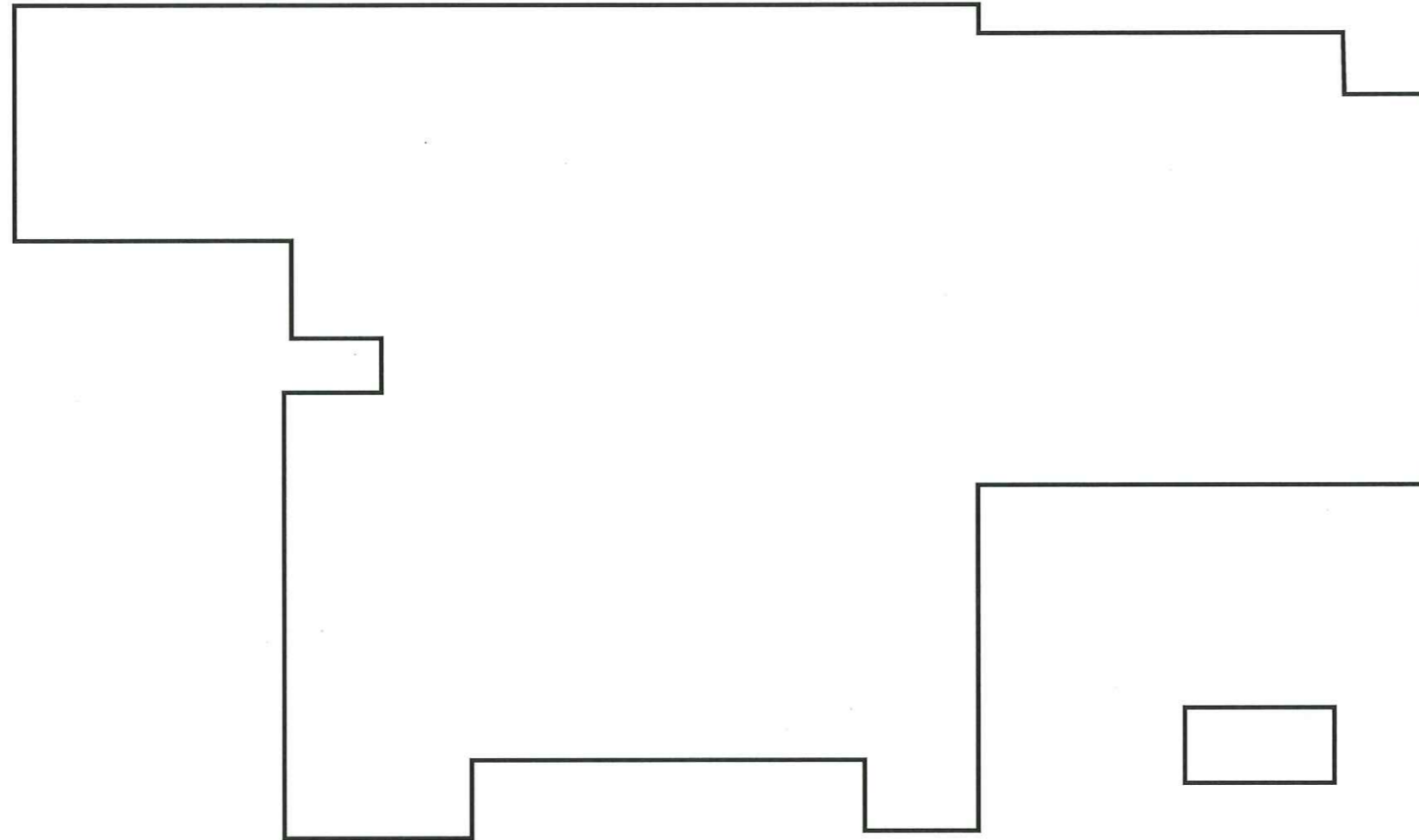
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m


電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

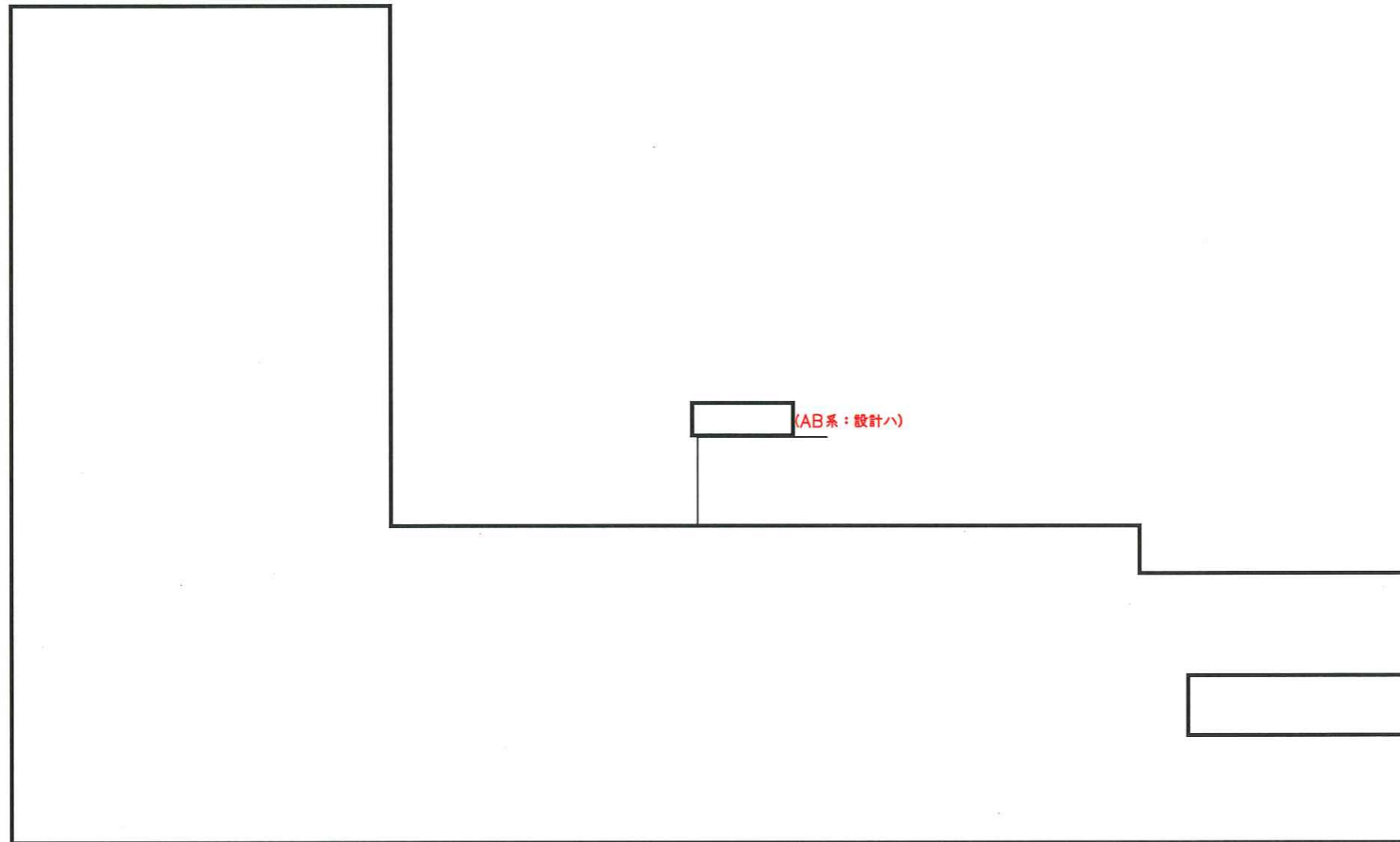
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:エアロゾル消火設備(既工認で設置済、系統分離対策に流用)スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

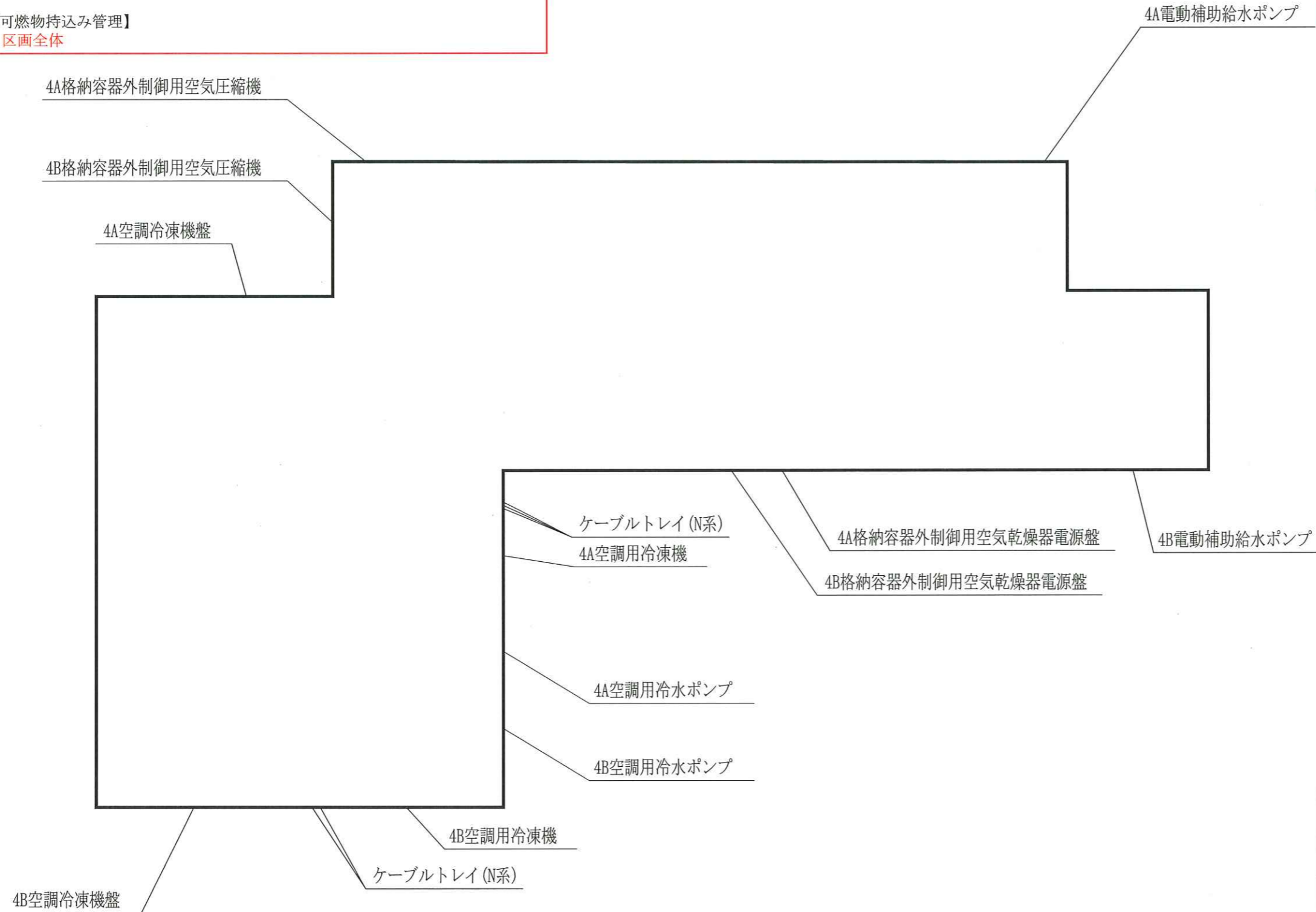
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

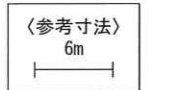
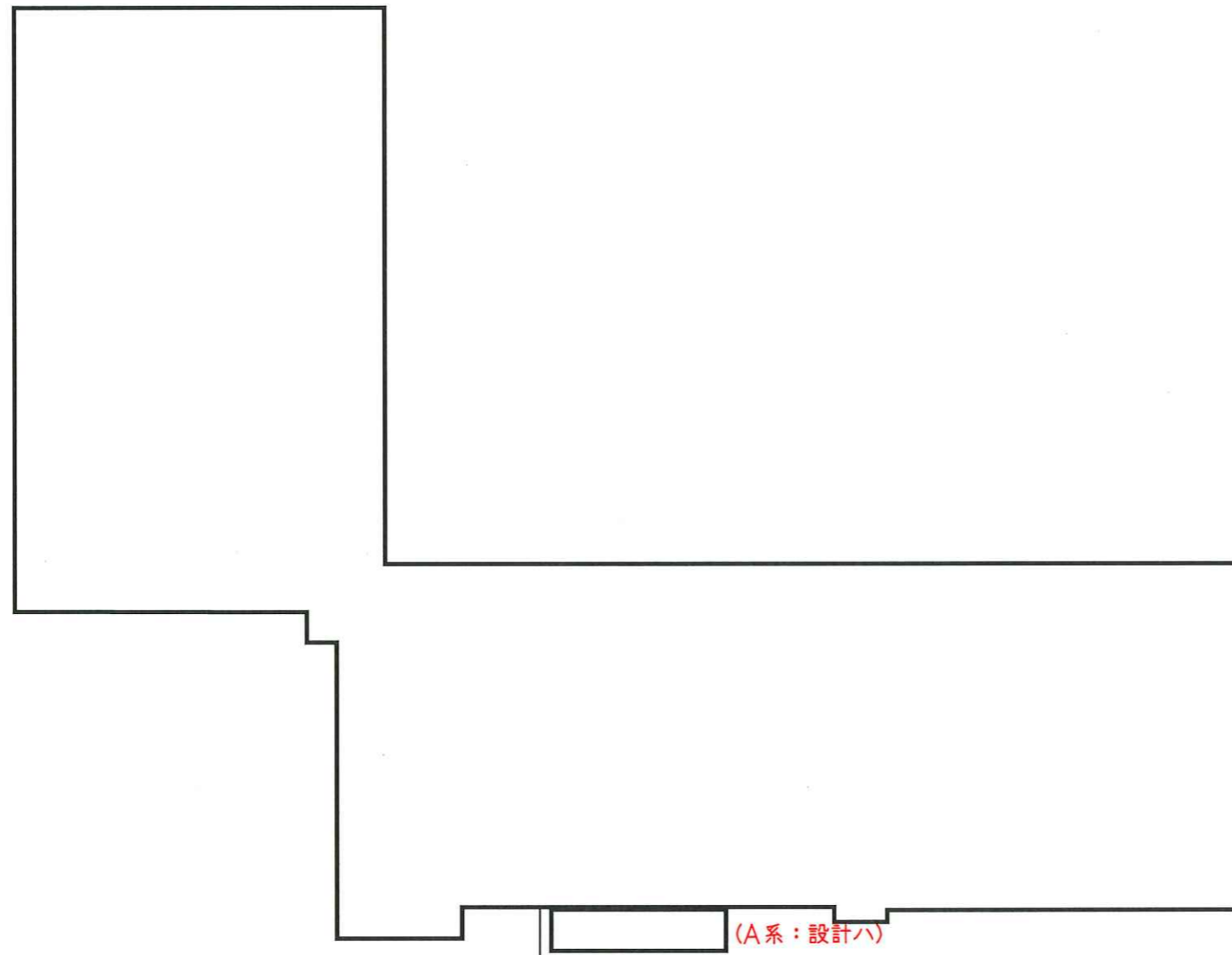
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

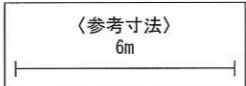
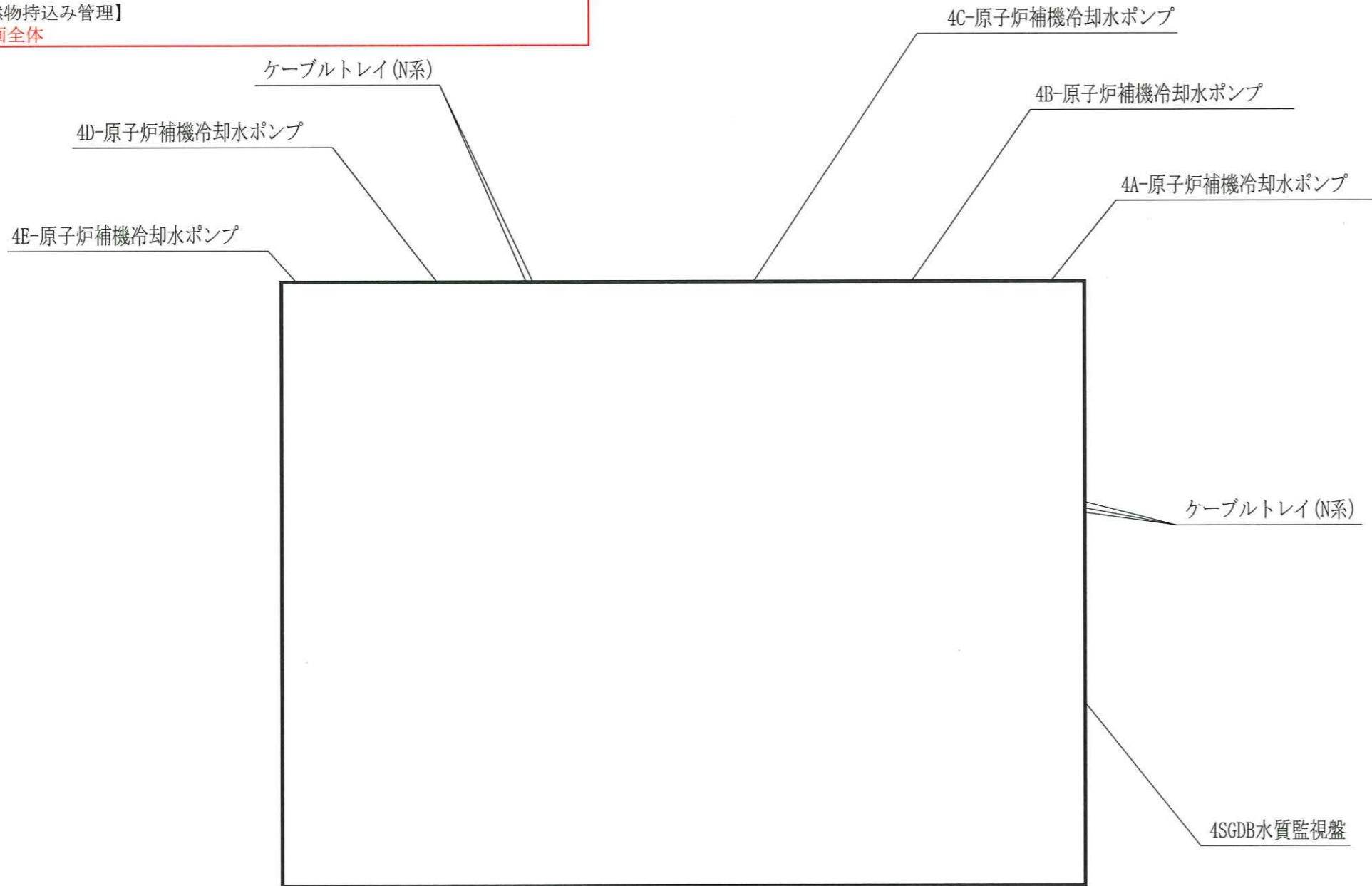
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

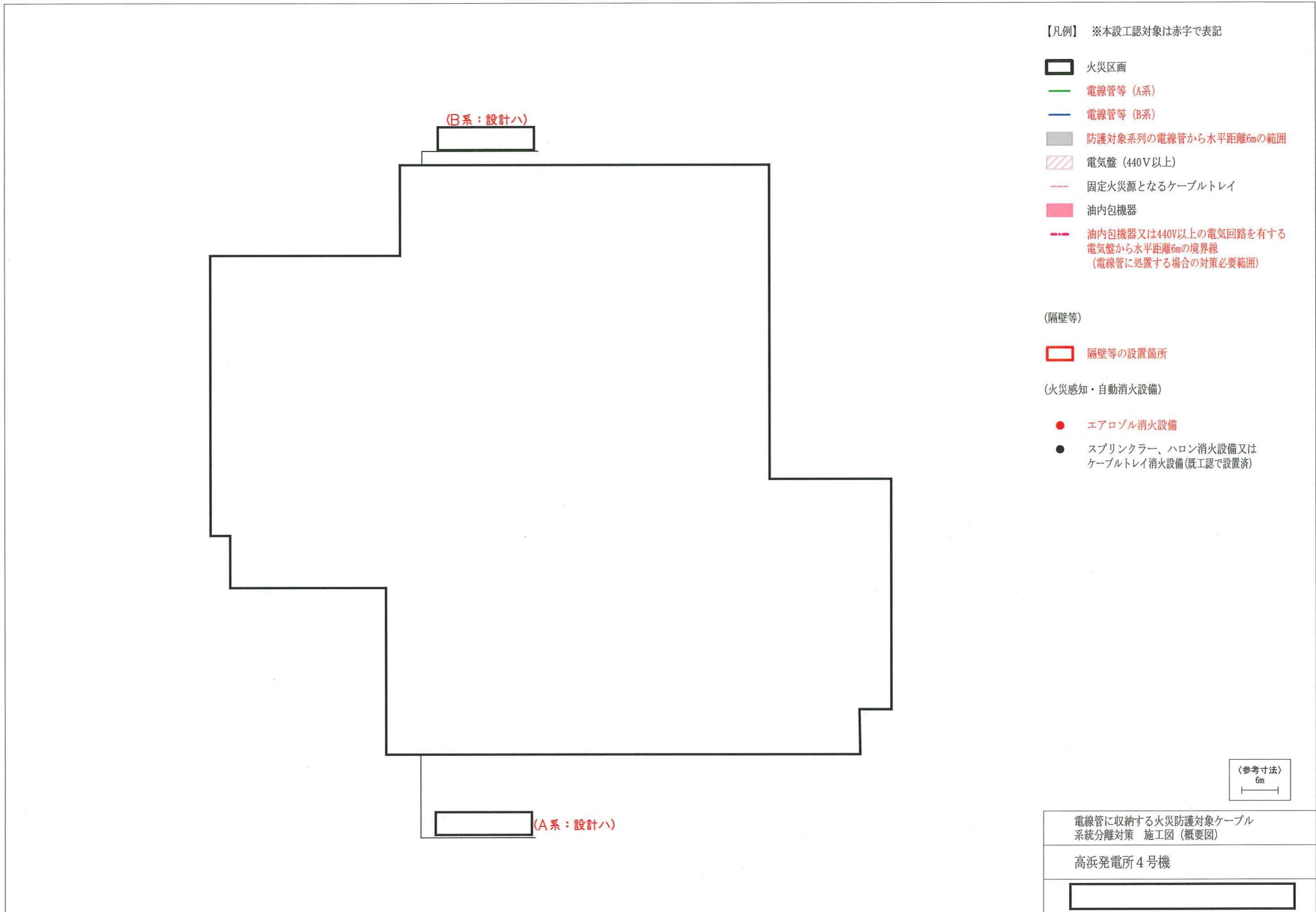
-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

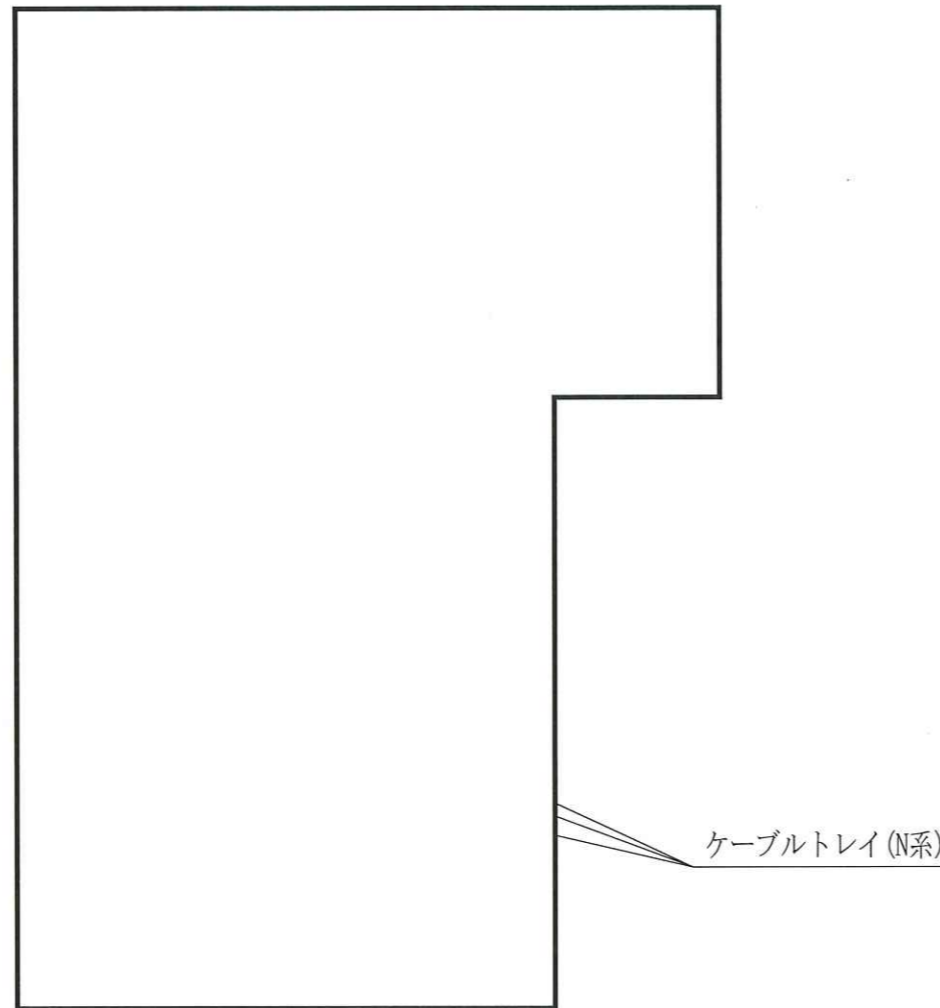
- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

■ 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記


-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

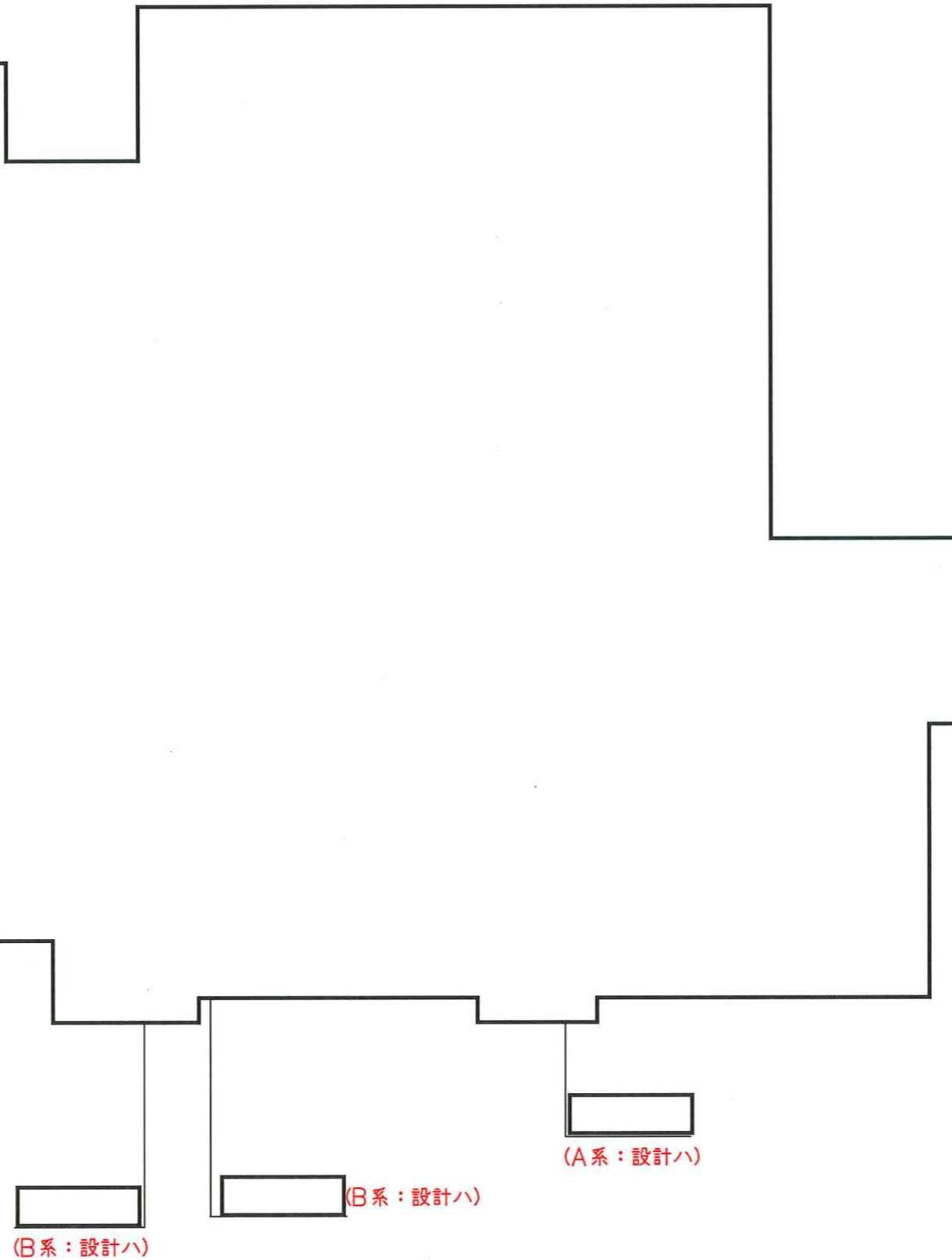
(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m


電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応


○ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)

全域ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

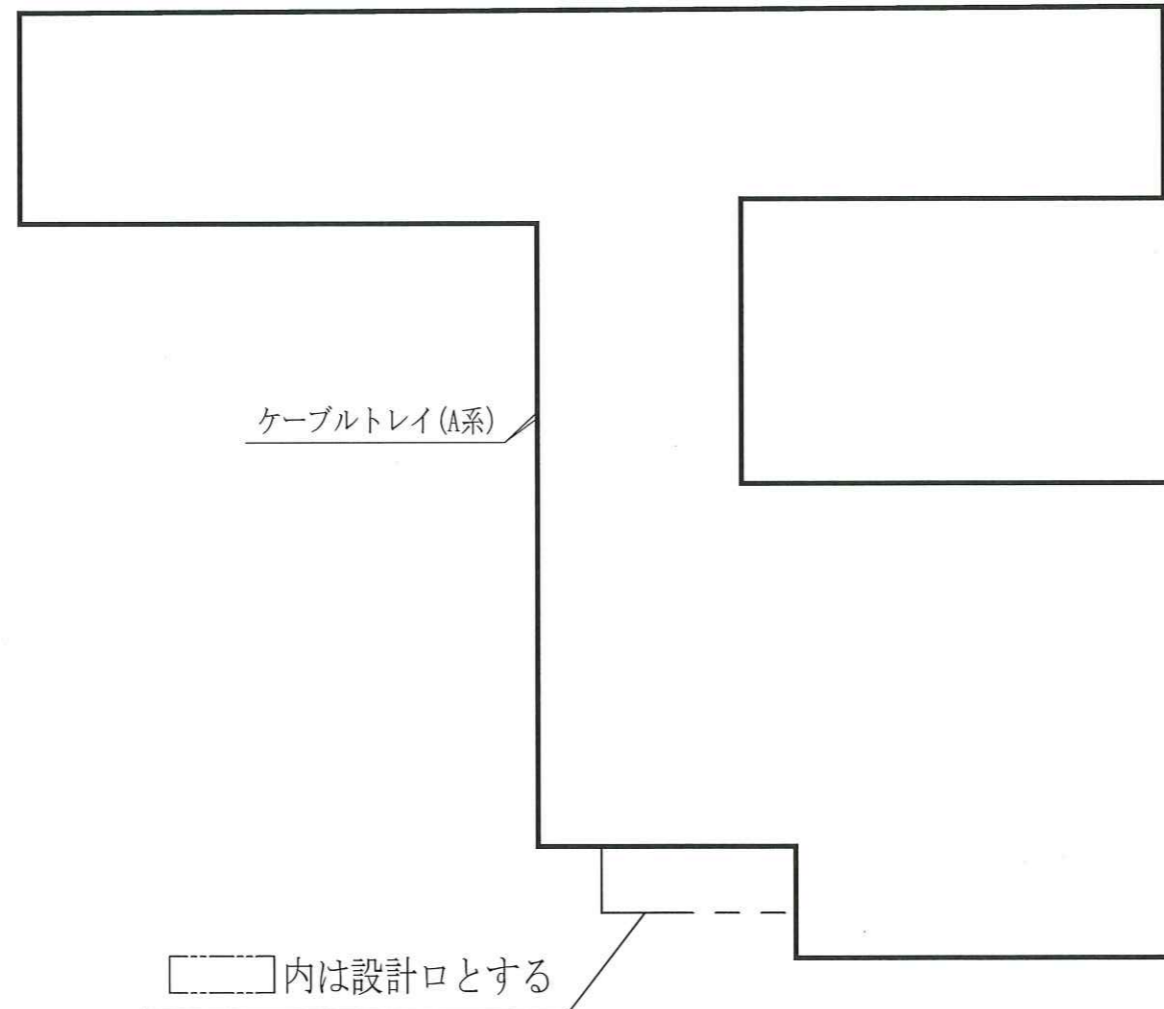
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

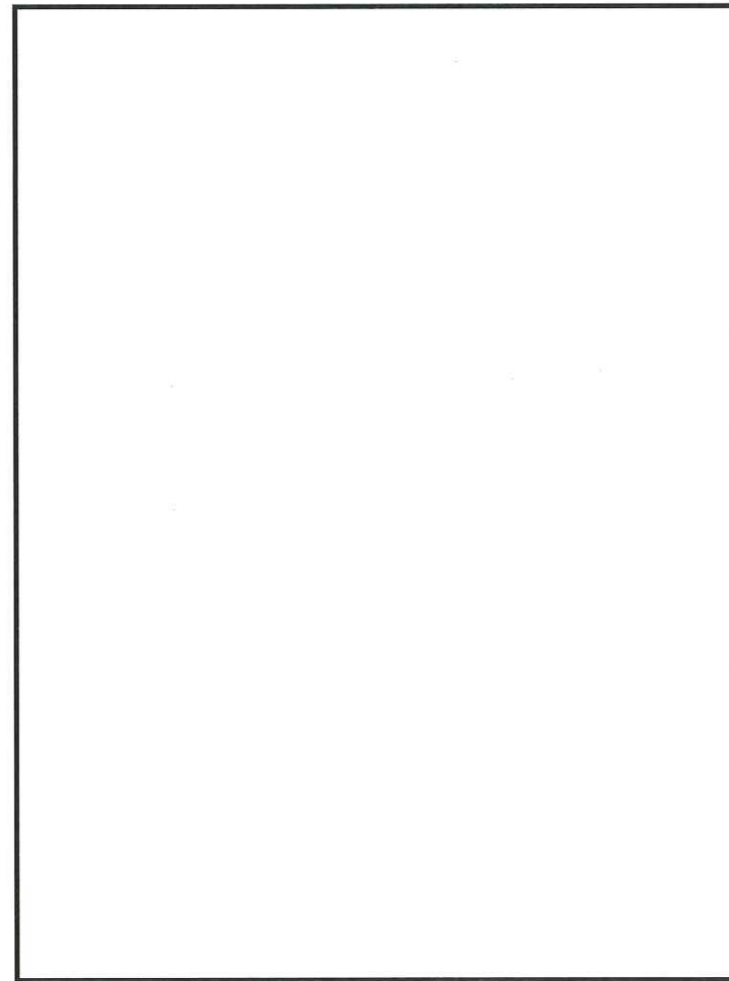
電線管等(B系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



ケーブルトレイ(A系)

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

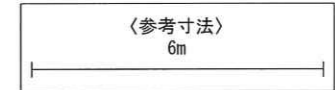
- 火災区画
- 電線管等(A系)
- 電線管等(B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤(440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

■ 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

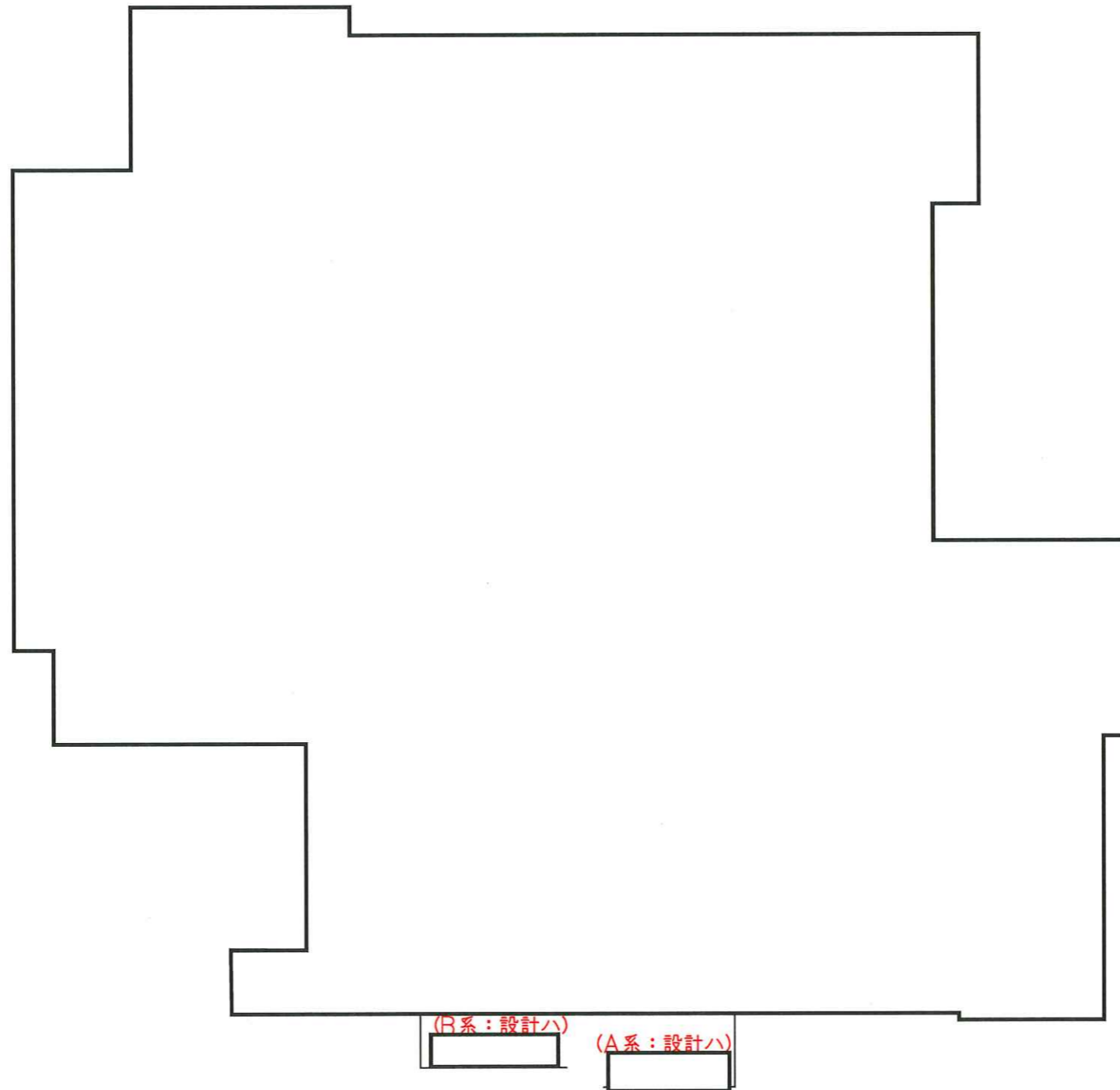
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

○防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応

○ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)

○ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

ケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

6m範囲内



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

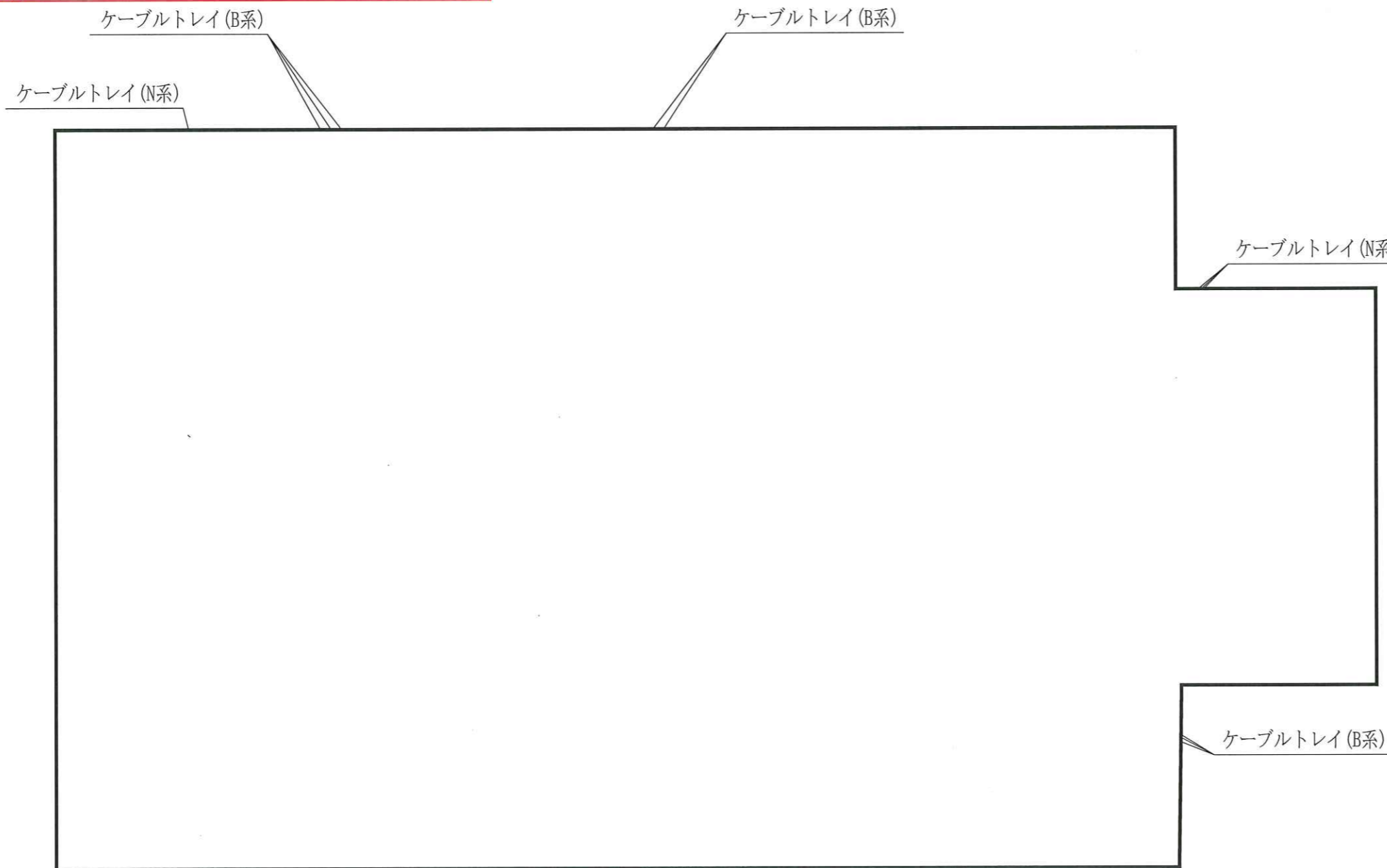
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(B系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(B系)ラッピング(全部)

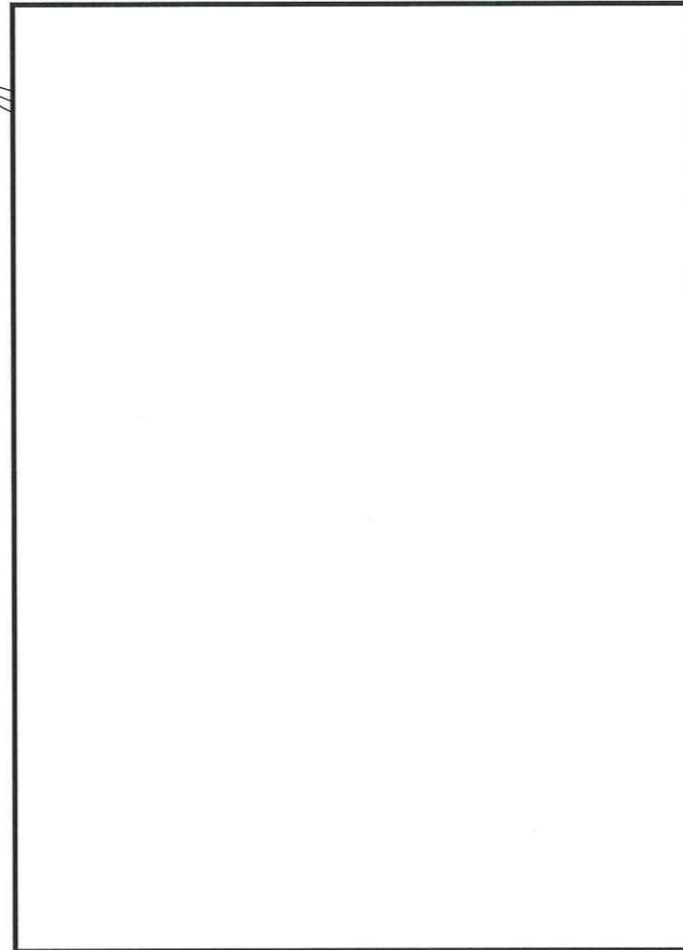
【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- ケーブルトレイ(A系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

ケーブルトレイ(N系)



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

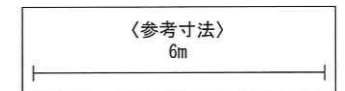
- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

- 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアゾール消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

高浜発電所4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

(A系：設計ハ)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

A系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

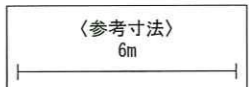
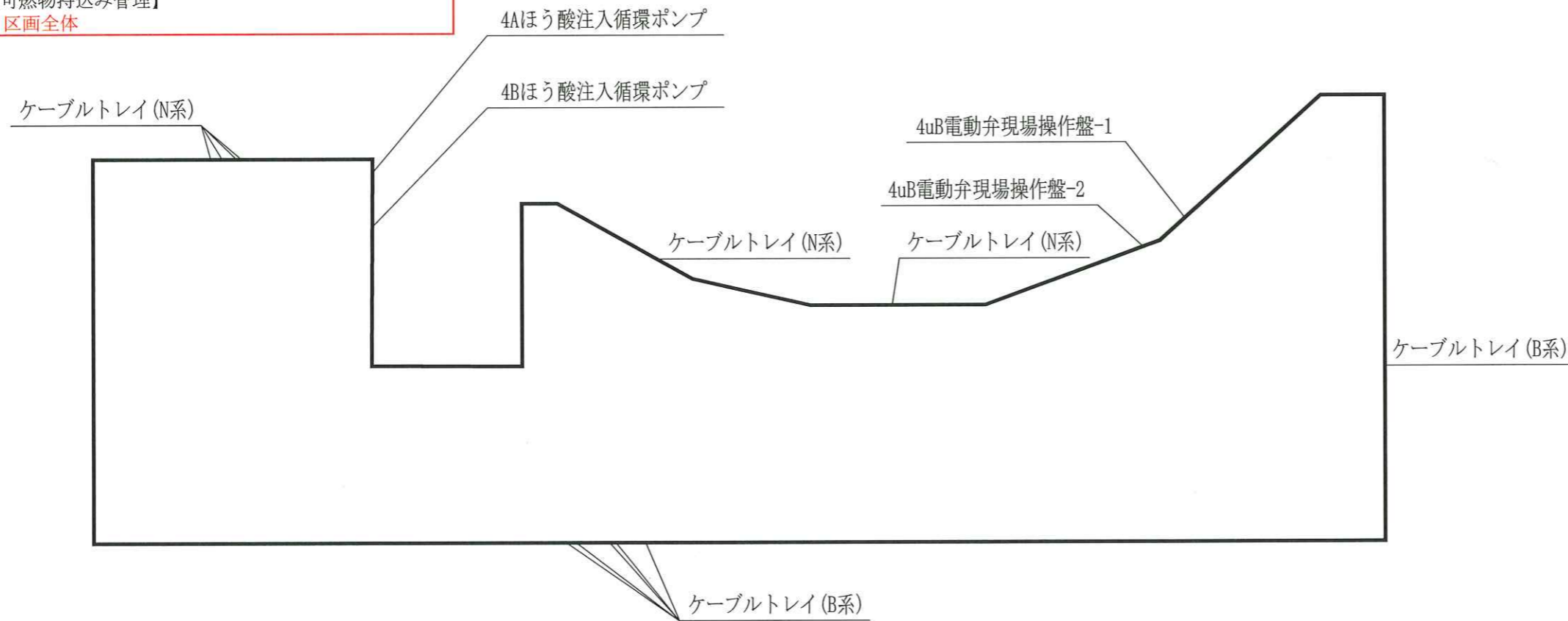
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

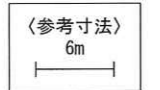
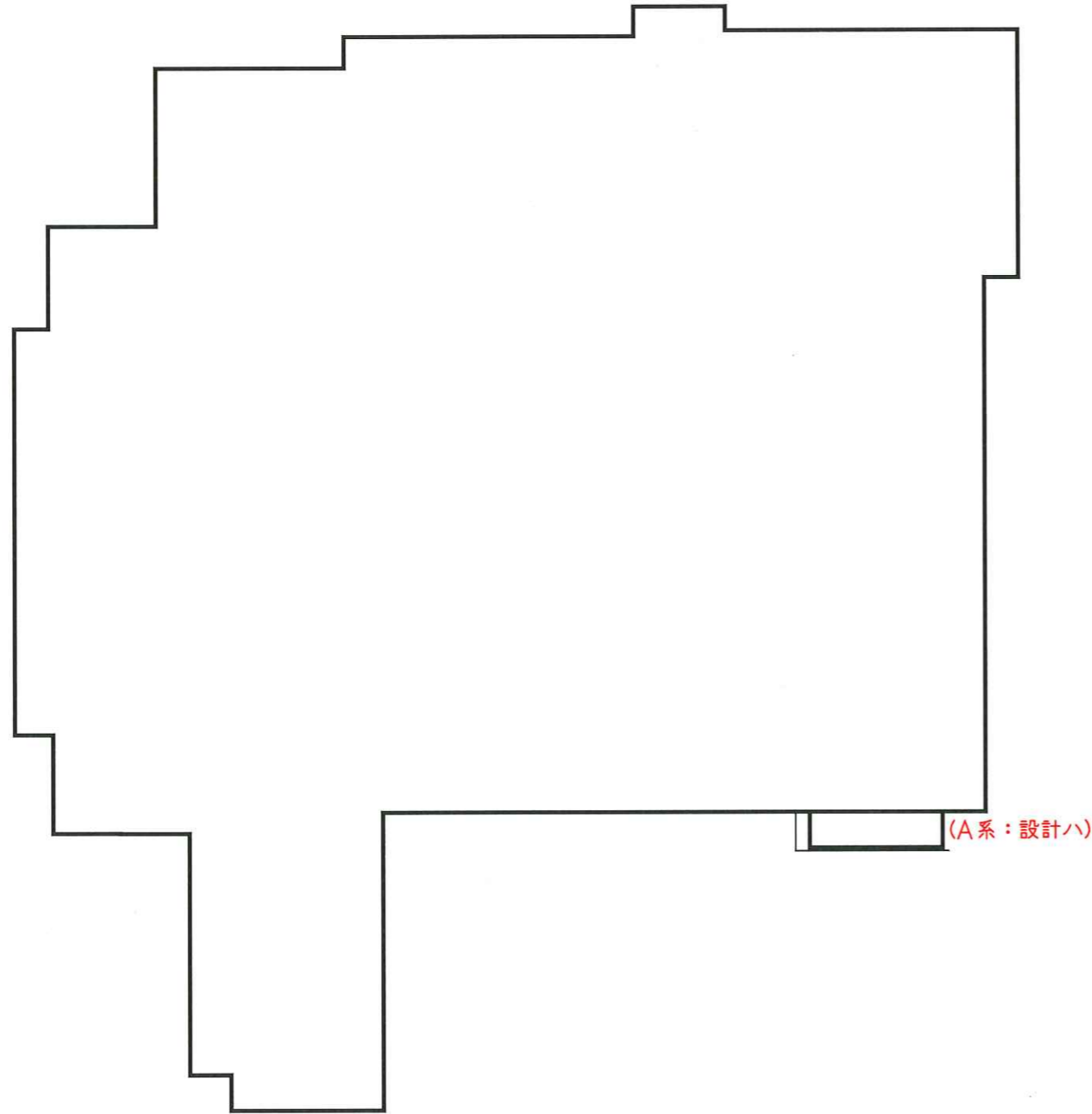
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

A系:設計「ハ」

本設工認による処置内容

【隔壁等】

電線管等(A系)ラッピング(全部)

【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(B系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:スプリンクラー(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

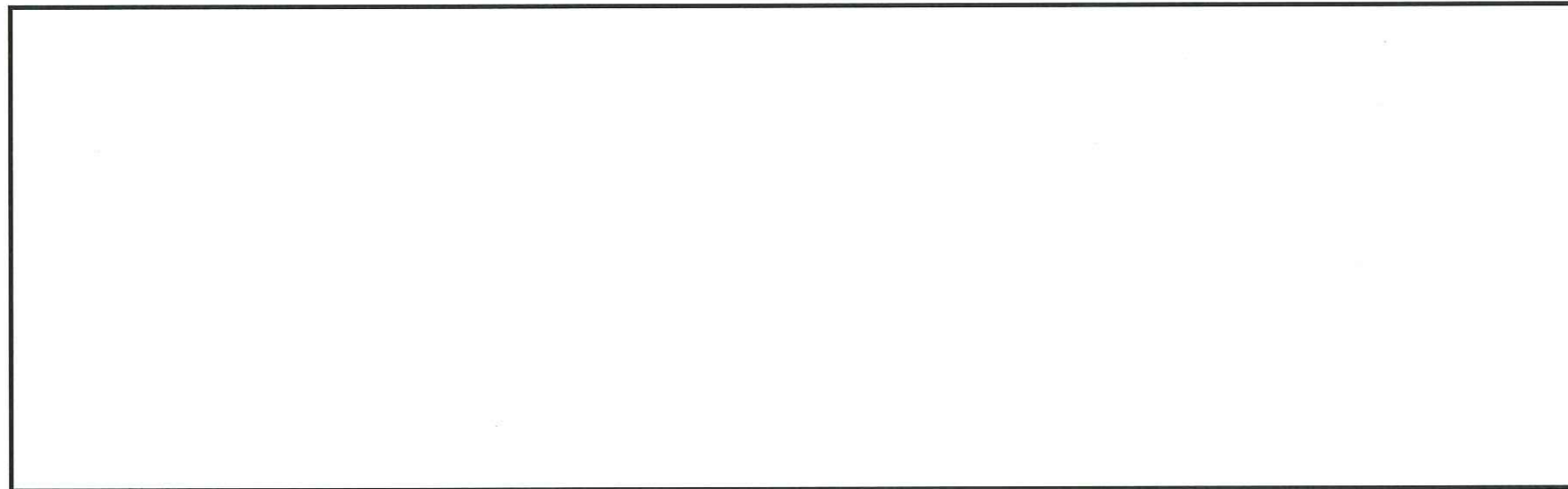
- 火災区画
- 電線管等 (A系)
- 電線管等 (B系)
- 防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
- 電気盤 (440V以上)
- 固定火災源となるケーブルトレイ
- 油内包機器
- 油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

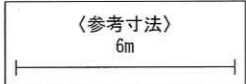
隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

- エアロゾル消火設備
- スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



ケーブルトレイ(N系)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (拡大図)

高浜発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

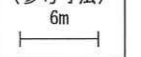
(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

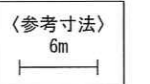
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

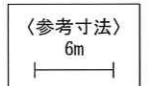
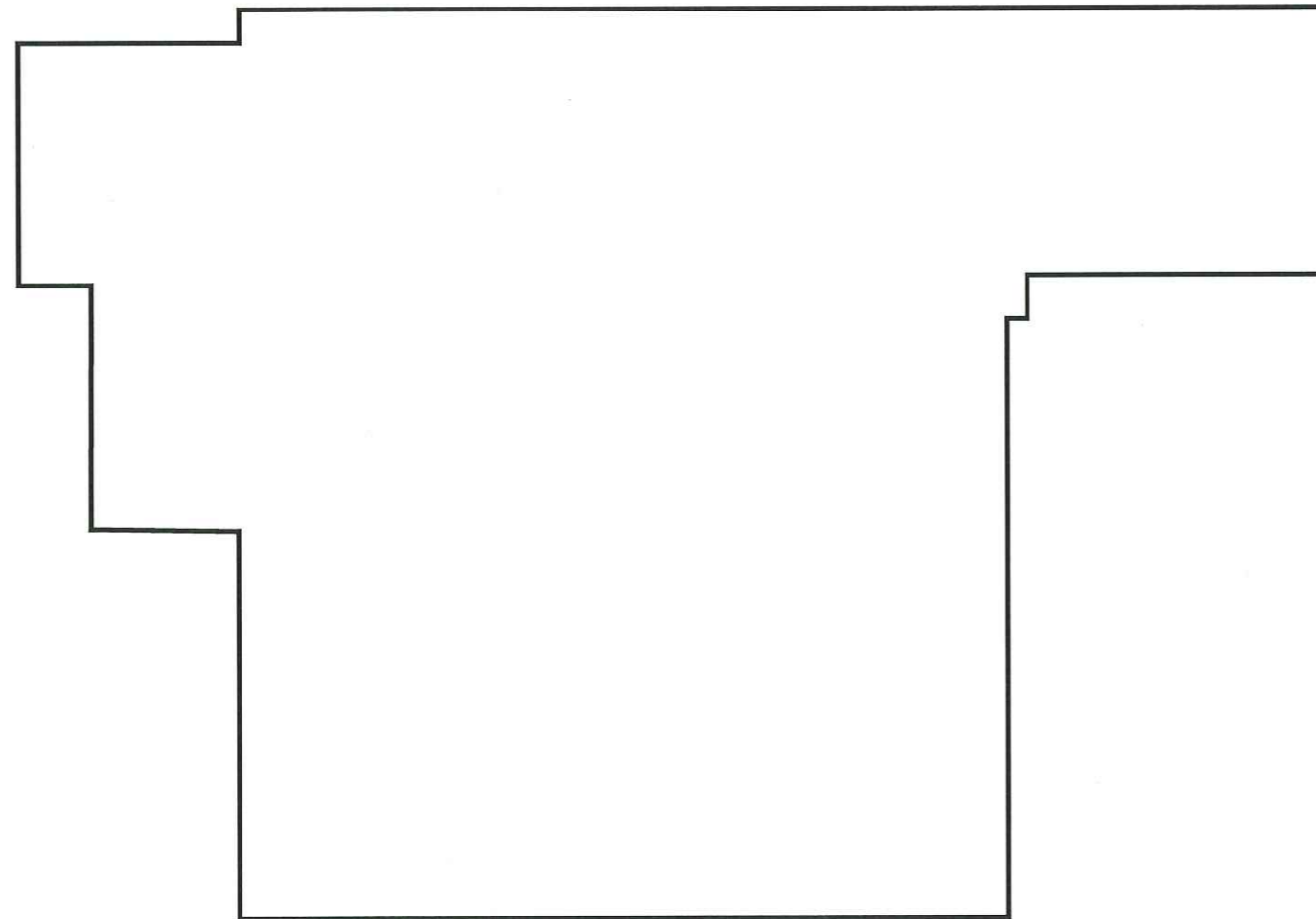
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

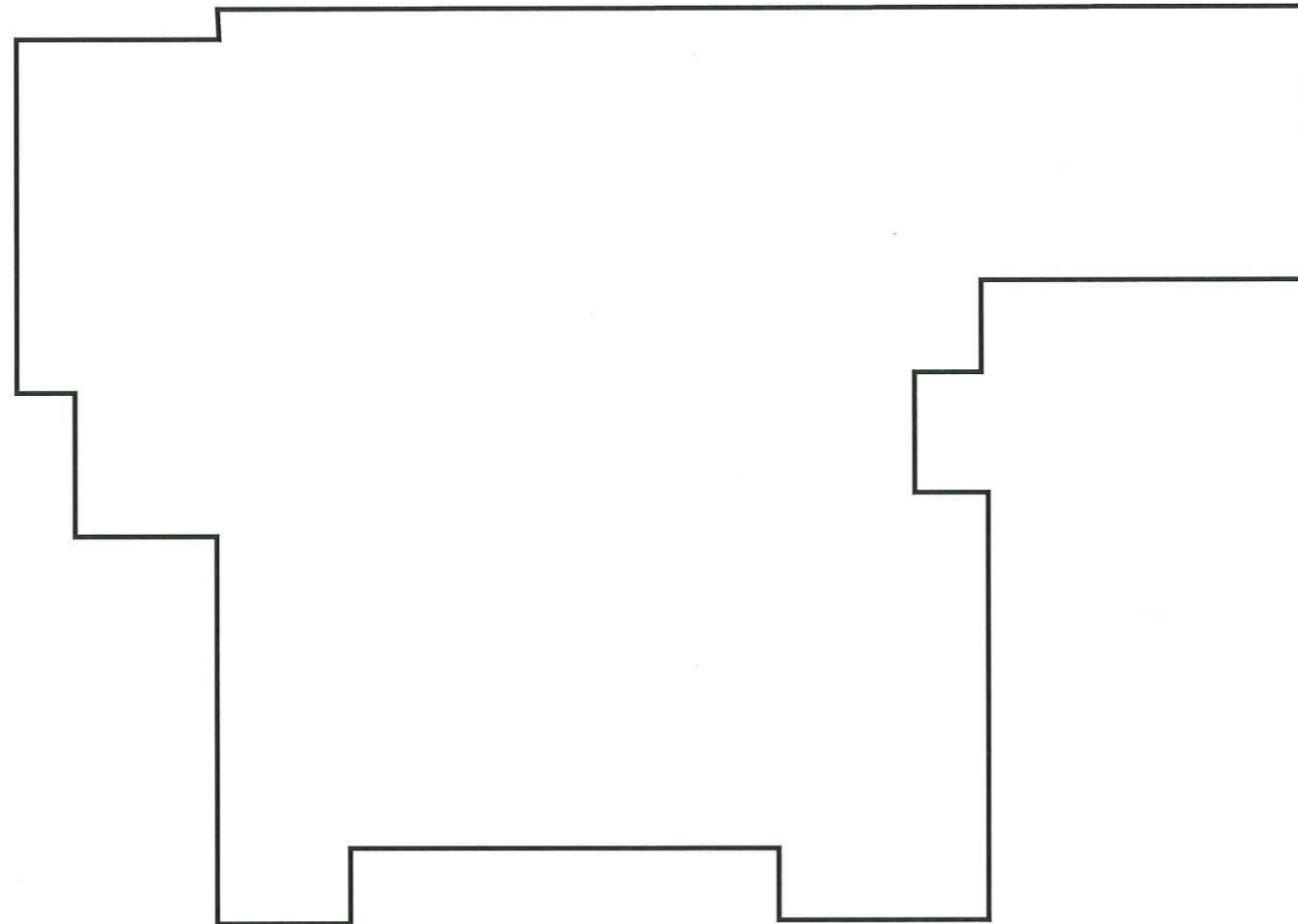
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

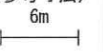
-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

高浜発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 4

大飯 3, 4 号機

電線管等に敷設する火災防護対象ケーブルの系統分離対策

別添 4-1

大飯 3, 4 号機

系統分離対策一覧表

1. 目 的

本資料は、火災防護に関する説明書6.2項に示す各火災区域、火災区画の系統分離対策の状況を示すために、別添として添付するものである。

2. 内 容

大飯3，4号機における各火災区域又は火災区画の系統分離対策の状況を、次頁以降の表に示す。

大飯発電所3号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/1)

(凡例) [] : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイの 防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等の設置		隔壁等 ハ(ロ)		火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ)
							固定火災源	防護対象系列 の電線管	本設工認による処置内容※2	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置※3	固定火災源※1	
火災区画		ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	ロ	AB	B								
火災区画		制御用空気圧縮装置室	ハ	AB	AB	電気盤 (3A制御用空気乾燥器制御盤、3B制御用空気乾燥器制御盤) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (A制御用空気圧縮機、B制御用空気圧縮機)	-	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E.L. [] m] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E.L. [] m]	-	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)		可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内 パターン1
火災区画		A 安全補機室空調ファン、配管室	ロ	B	B								
火災区画		制御棒駆動装置電源室及び通路	ロ	A	A								
火災区画		体積制御タンク及び通路	イ	B	B								
火災区画		ベネトレーションエリア	イ	AB	AB								
火災区画		通路 (E.L. [] m)	ロ	B	-								
火災区画		原子炉補機冷却水ポンプ室-2 (3号機)	ロ	B	B								
火災区画		通路 (3・4号機共用)	イ	A	-								
火災区域		海水ポンプ室 (3・4号機共用)	イ	AB	-								

基本設計方針
 イ、3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ、1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ、火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン
 (1時間)
 1-①: []
 1-②: []
 (3時間)
 3-①: []
 3-②: []
 3-③: []

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

大飯発電所4号機 電線管に収納する火災防護対象ケーブルの系統分離対策 一覧表 (1/1)

(凡例) : 本設工認の申請範囲

※1: ケーブルトレイは防護対象系列と異なる系列に対するものを記載、ハ(イ)の異なる系列の電線管は各区画共通のため省略
 ※2: 電線管等への隔壁等設置を「電線管等ラッピング」、()に火災区画内における施工範囲を全部or一部で区別
 ※3: 電線管内部での自己消火は共通のため、省略

区分	番号	名称	基本設計方針 (処置方針)	防護対象 系列	(参考) 既工認で のケーブル トレイ の防護対 象系列	防護対象系列の電線管から水平距離6mの 範囲内にある固定火災源※1	隔壁等 ハ(ロ)			火災感知・自動消火設備 ハ(ロ)		運用等ハ(ハ) 可燃物 持込み管理 パターン1: 区画全体 パターン2: 6m範囲内	
							隔壁等の設置		本設工認による処置内容※2	固定火災源に 設置する隔壁 等の施工パ ターン	火災感知・自動消火設備の設置※3		
							固定火災源	防護対象系列 の電線管			固定火災源※1		
火災区画		B 安全系冷却器室	ロ	A	A								
火災区画		通路 (E.L. h)	ロ	B	B								
火災区画		ほう酸ポンプ・ほう酸タンク室	ロ	AB	—								
火災区画		制御用空気圧縮装置室	ハ	AB	AB	電気盤 (4A制御用空気乾燥器制御盤、4B制御用空気乾燥器制御盤) ケーブルトレイ (N系) 油内包機器 (A制御用空気圧縮機、B制御用空気圧縮機)	—	○	電線管等 (A系) ラッピング (全部) [E.L. h] 電線管等 (B系) ラッピング (全部) [E.L. h]	—	スプリンクラー (既工認で設置済) スプリンクラー (既工認で設置済) 局所ハロン消火設備 (既工認で設置済)	パターン1	
火災区画		制御棒駆動装置電源室及び通路	ロ	A	A								
火災区画		ペネトレーションエリア	イ	AB	AB								
火災区画		体積制御タンク及び通路	ロ	A	A								
火災区画		格納容器給気ファン室及び通路	イ	B	—								
火災区画		原子炉補機冷却水ポンプ室-2 (4号機)	ロ	B	B								

基本設計方針
 イ. 3時間以上の耐火能力を有する隔壁
 ロ. 1時間耐火隔壁、火災感知設備及び自動消火設備
 ハ. 火災源に対する対策を考慮した系統分離

固定火災源に設置する隔壁等の施工パターン

- (1時間)
 1-①:
 1-②:
 (3時間)
 3-①:
 3-②:
 3-③:

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

別添 4-2

大飯 3, 4 号機

系統分離対策範囲図









1. 目的

本資料は、火災防護に関する説明書 6.2 項に示す火災の影響軽減対策を行う箇所を示すために、別添として添付するものである

2. 内容

大飯 3, 4 号機における火災の影響軽減対策を実施する箇所を示す資料を、次頁以降に示す。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

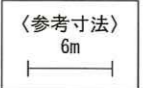
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)








電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

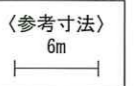
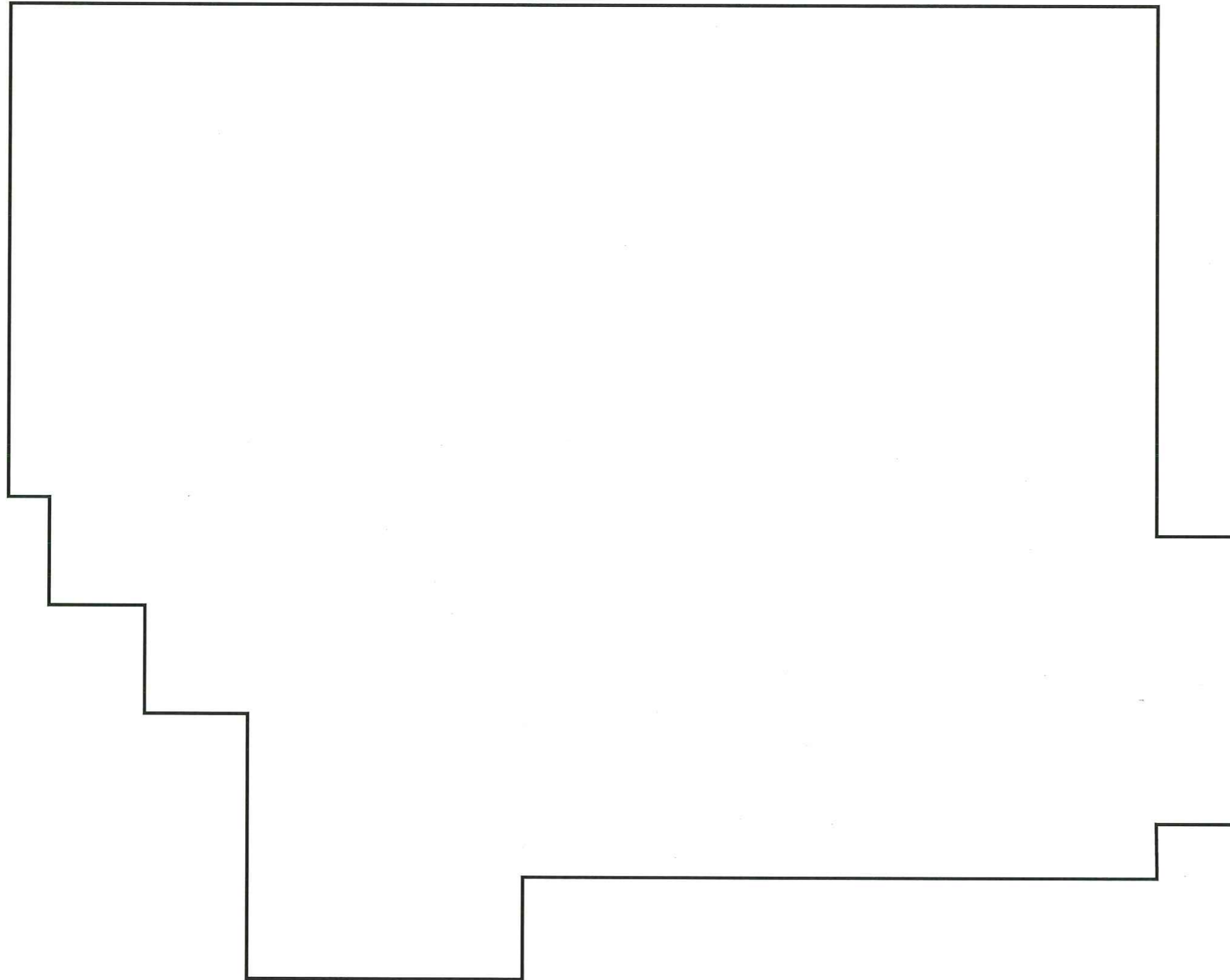
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)

〈参考寸法〉

6m











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)









【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

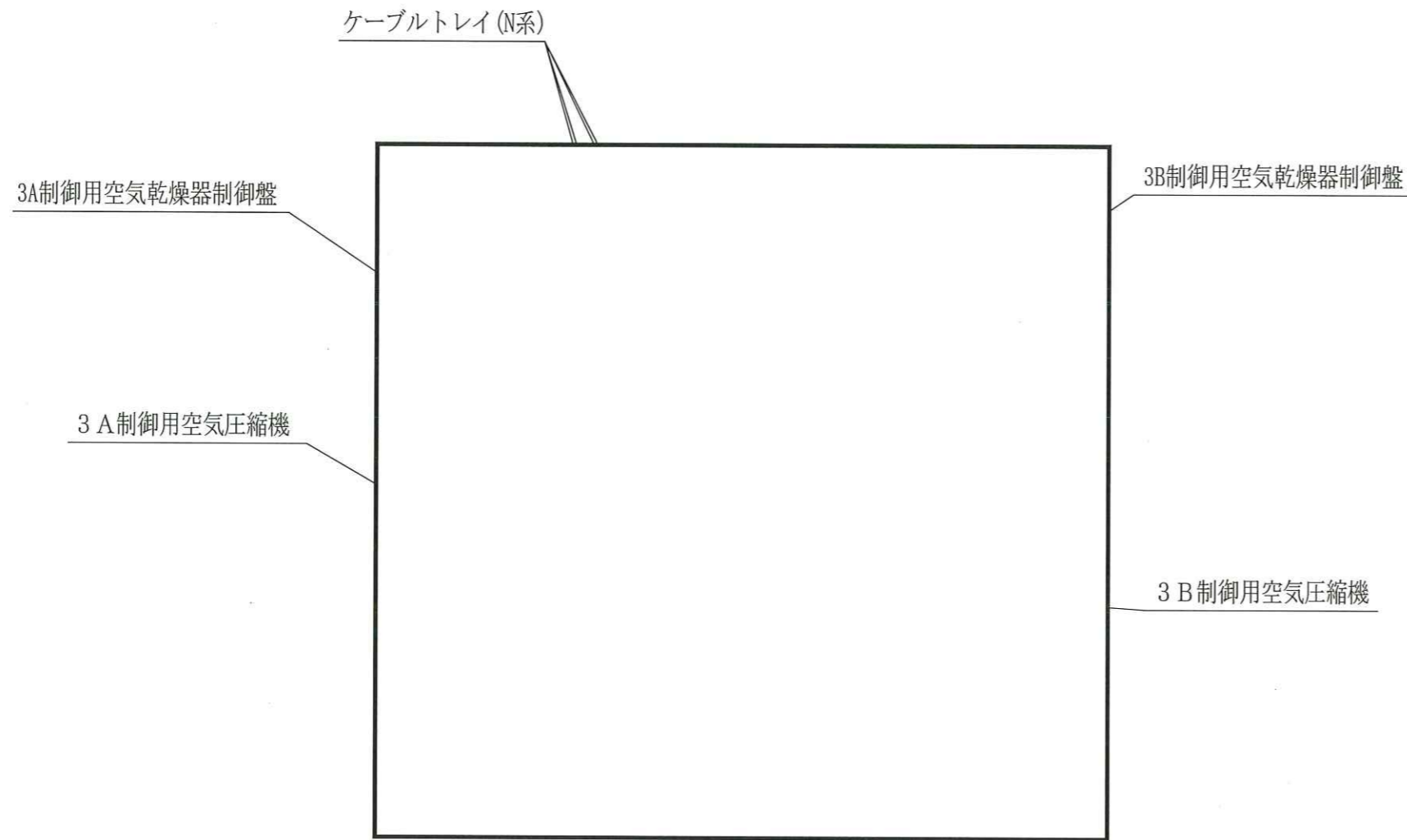
-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

大飯発電所3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉

6m






電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所


(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備 (既工認で設置済)











(AB系:処置ハ)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル 系統分離対策 施工図 (概要図)
大飯発電所 3号機


枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 3号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m








電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

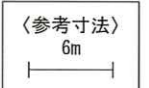
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 3号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

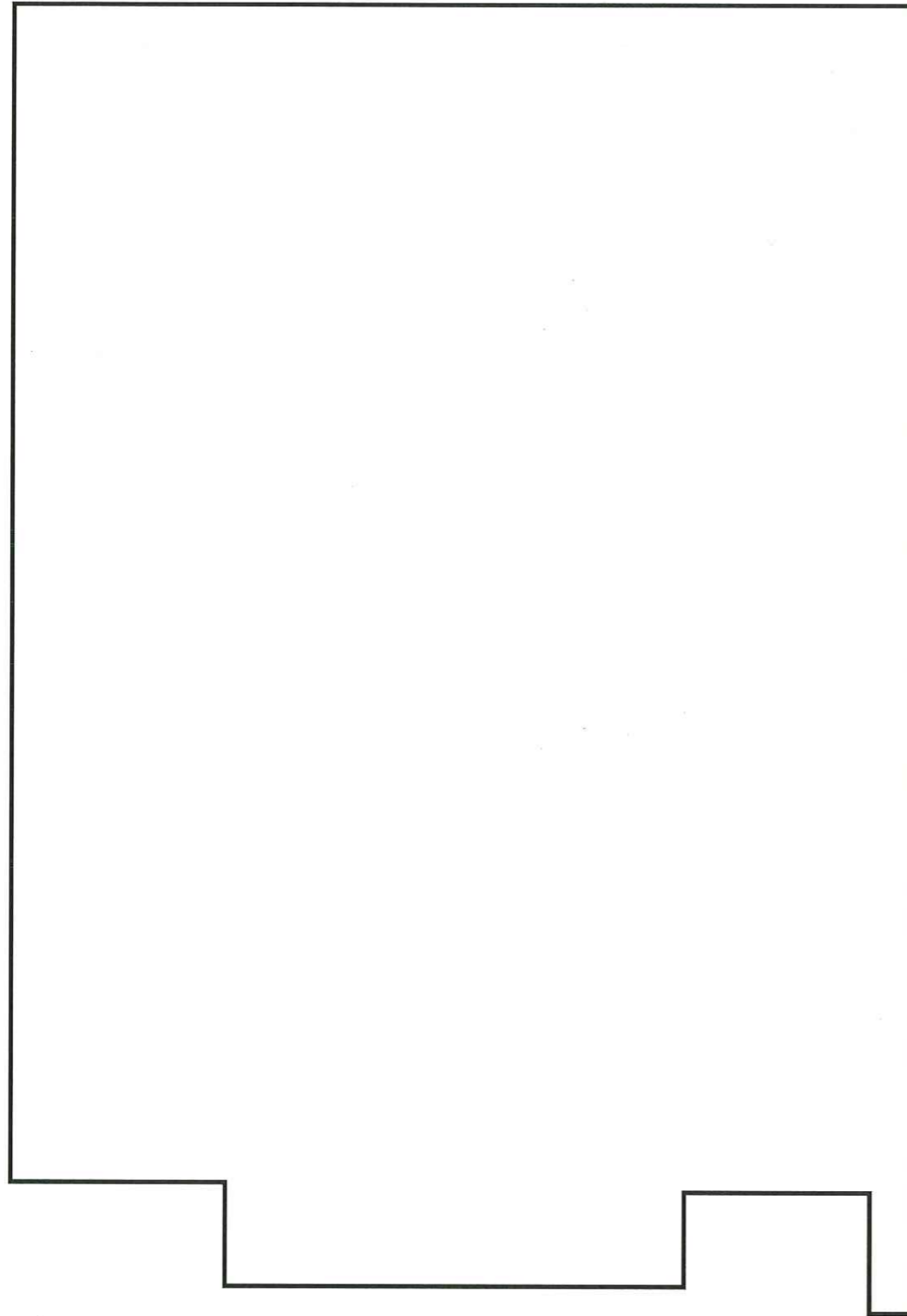
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

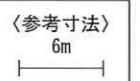
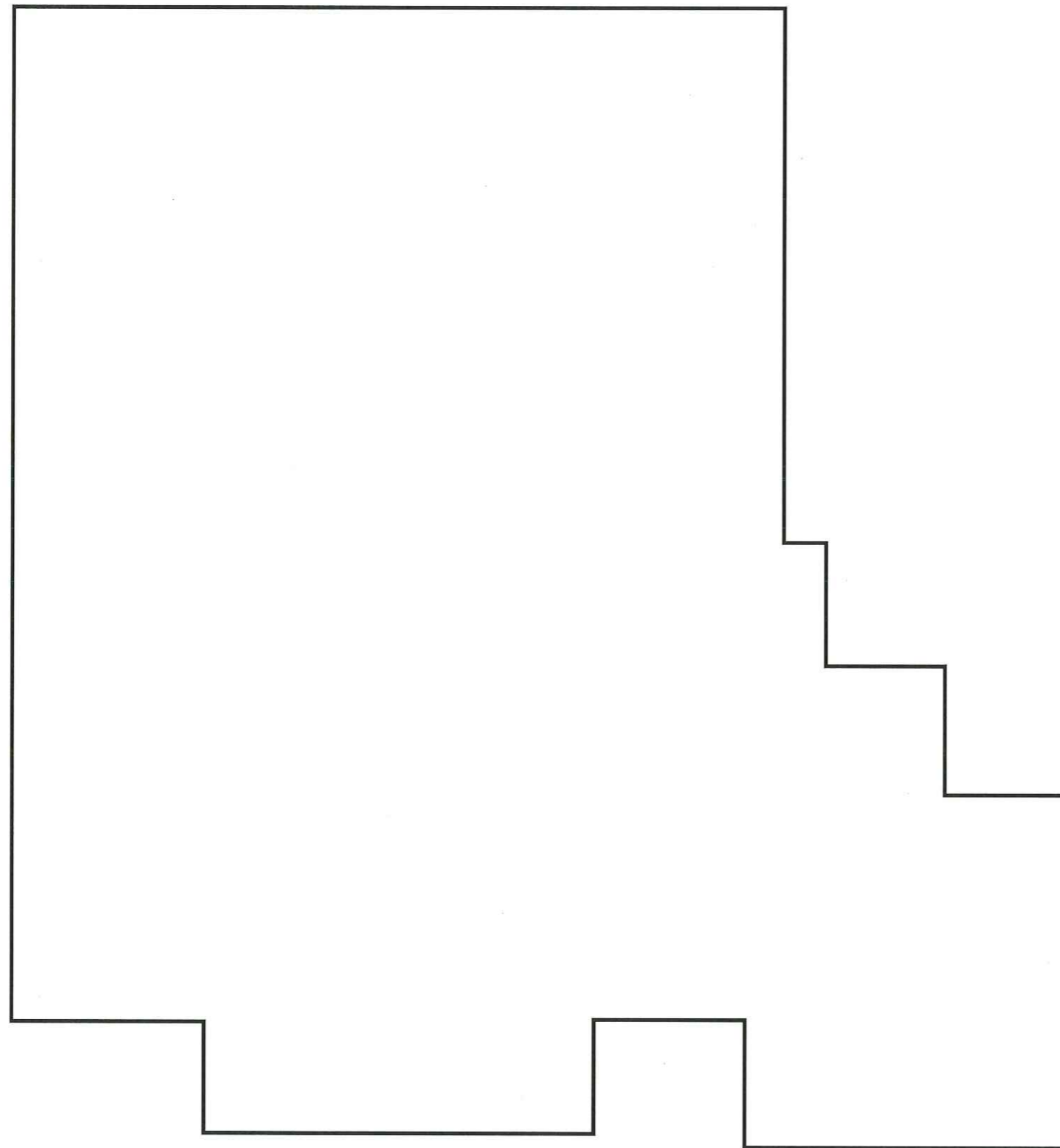
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾール消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

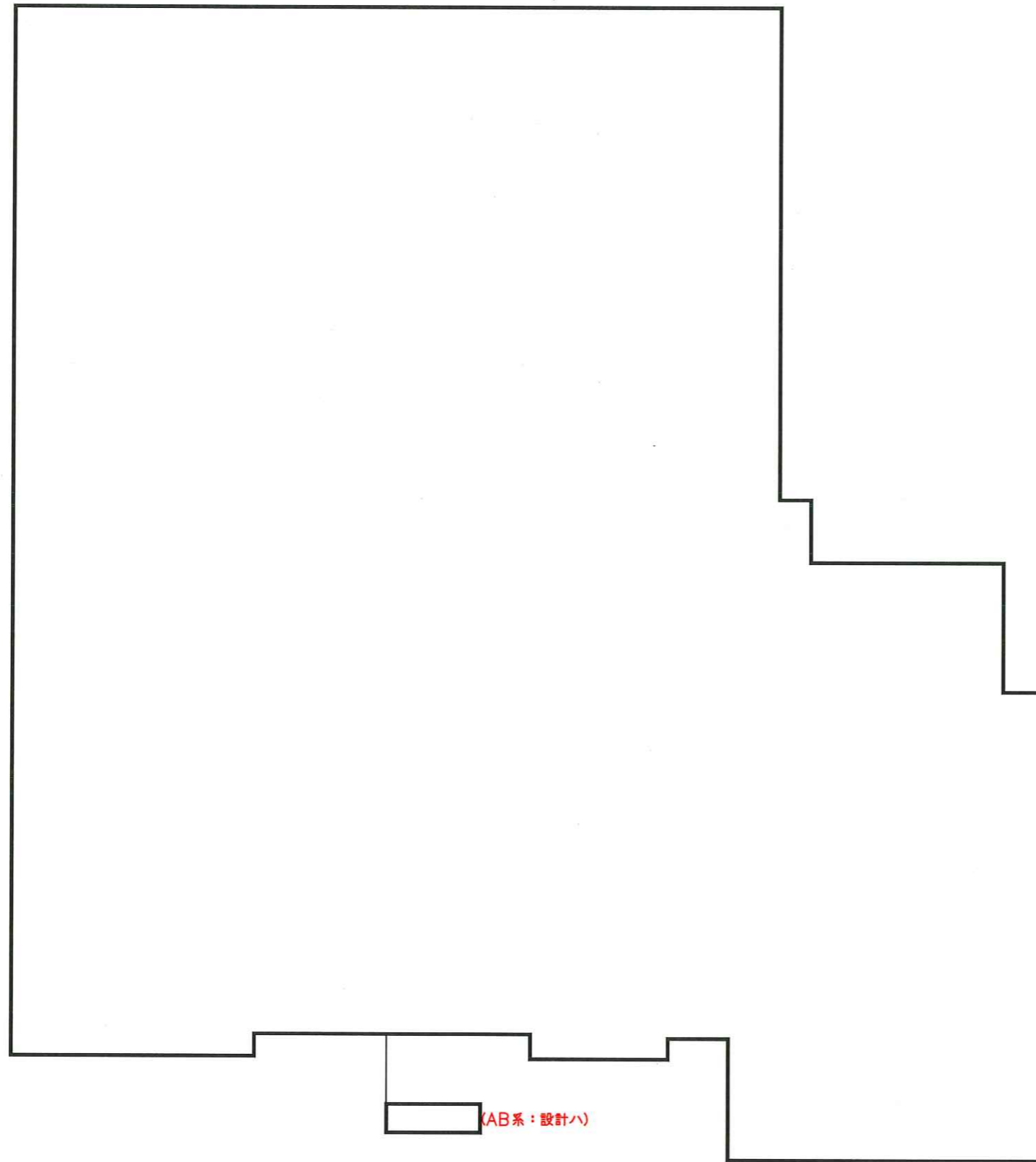
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉

6m



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

(AB系:設計「ハ」)

本設工認による処置内容

【隔壁等】

- 電線管等(A系)ラッピング(全部)
- 電線管等(B系)ラッピング(全部)








【火災感知・自動消火設備】

- 防護対象系列の電線管周辺:運用にて対応
- 電気盤:スプリンクラー(既工認で設置済)
- ケーブルトレイ(N系):スプリンクラー(既工認で設置済)
- 油内包機器:局所ハロン消火設備(既工認で設置済)

【可燃物持込み管理】

区画全体



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

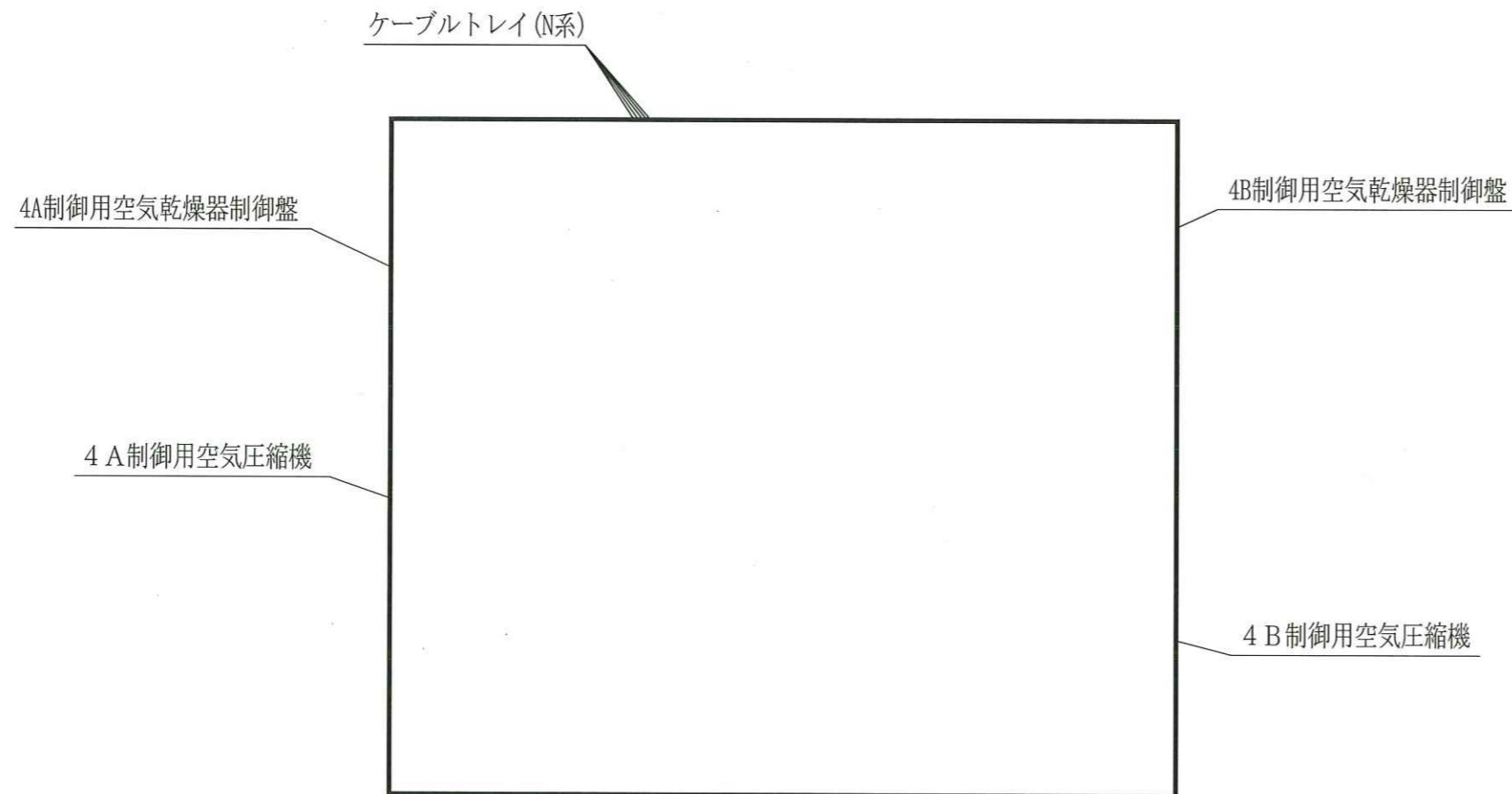
-  火災区画
-  電線管等(A系)
-  電線管等(B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤(440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線(電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

 隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図(拡大図)

大飯発電所4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉
6m









電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)



電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所4号機


(AB系: 処置済)

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

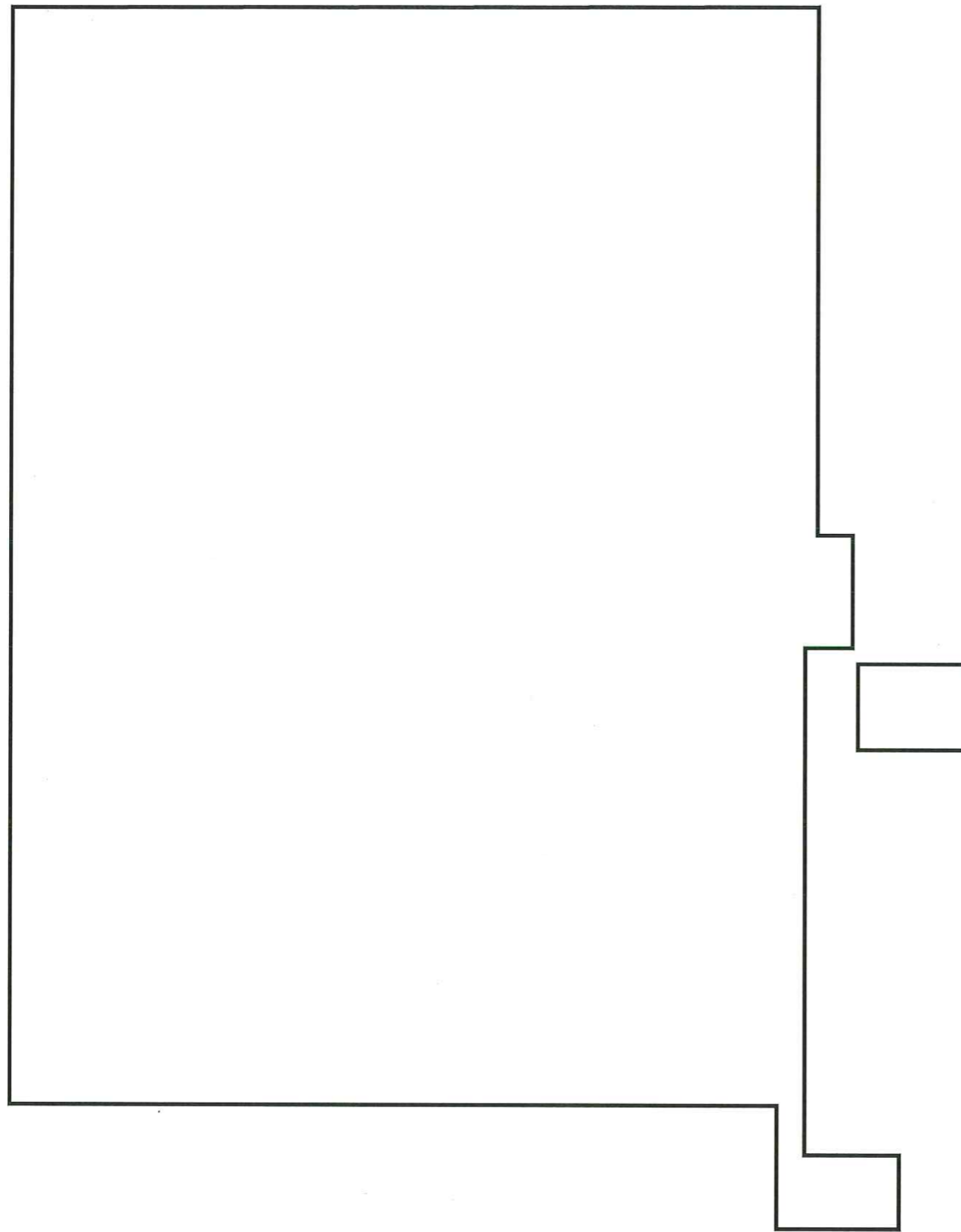
-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)











〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)









〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区画
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉

6m

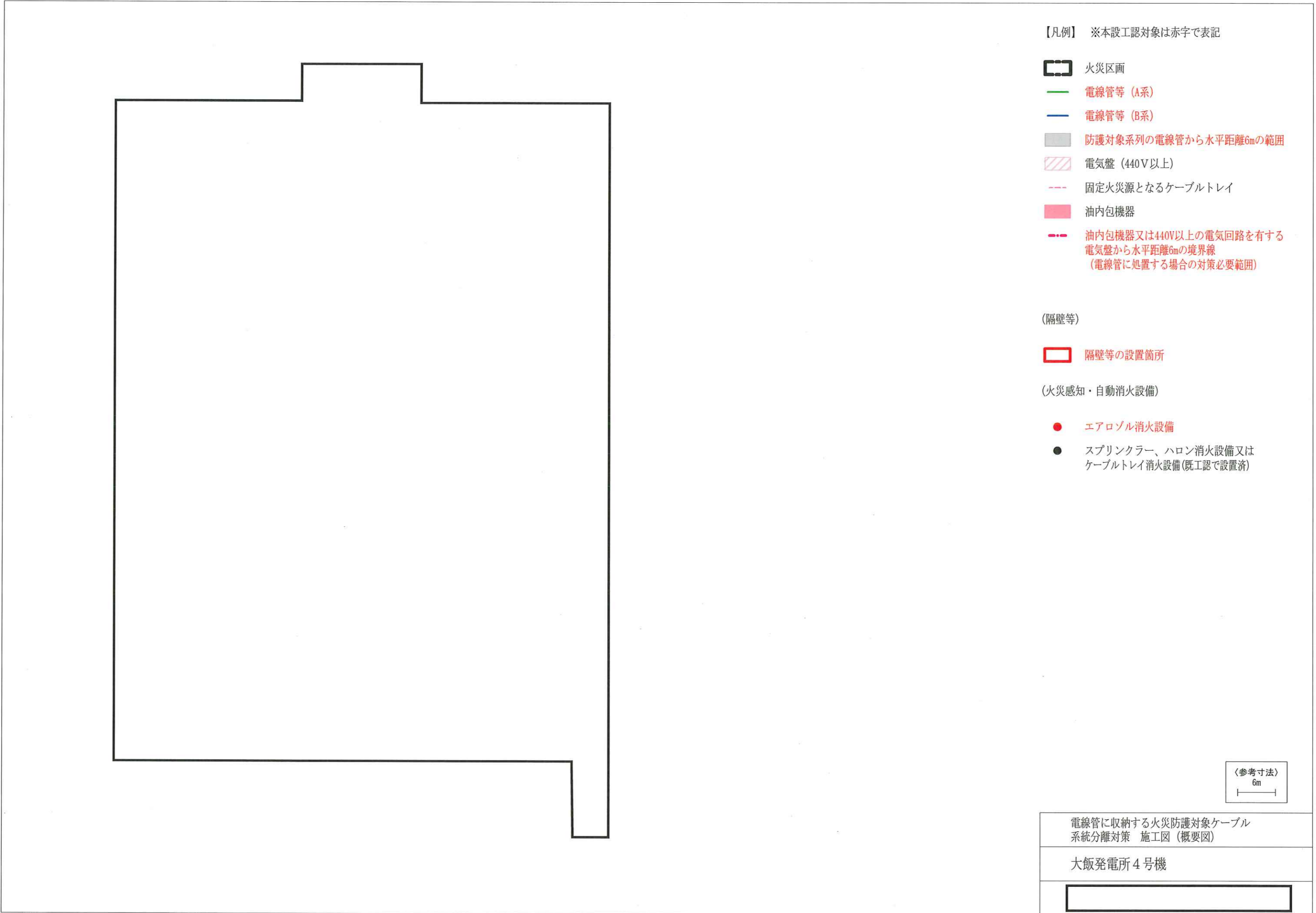













電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機



枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



- 【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記
-  火災区画
 -  電線管等 (A系)
 -  電線管等 (B系)
 -  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
 -  電気盤 (440V以上)
 -  固定火災源となるケーブルトレイ
 -  油内包機器
 -  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)
- (隔壁等)
-  隔壁等の設置箇所
- (火災感知・自動消火設備)
-  エアゾール消火設備
 -  スプリンクラー、ハロン消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)


〈参考寸法〉
6m

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。



【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記

-  火災区域
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)
-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)






〈参考寸法〉
6m




電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所3・4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。

【凡例】 ※本設工認対象は赤字で表記



-  火災区域
-  電線管等 (A系)
-  電線管等 (B系)
-  防護対象系列の電線管から水平距離6mの範囲
-  電気盤 (440V以上)

-  固定火災源となるケーブルトレイ
-  油内包機器
-  油内包機器又は440V以上の電気回路を有する電気盤から水平距離6mの境界線 (電線管に処置する場合の対策必要範囲)

(隔壁等)

-  隔壁等の設置箇所

(火災感知・自動消火設備)

-  エアロゾル消火設備
-  スプリンクラー、二酸化炭素消火設備又はケーブルトレイ消火設備(既工認で設置済)

〈参考寸法〉

6m
┌─┐

電線管に収納する火災防護対象ケーブル
系統分離対策 施工図 (概要図)

大飯発電所 3・4号機

枠囲みの範囲は機密に係る事項ですので公開することはできません。